

# 創立 50 周年



小平市スキー連盟  
2012.10



# ～ 目 次 ～

## お祝いの言葉

小平市スキー連盟会長 小川英夫 .....	P2
小平市スキー連盟名誉会長 馬場和男 .....	P3
小平市長 小林正則 .....	P4
小平市体育協会会長 小川潔 .....	P5
東京都スキー連盟会長 猪谷千春 .....	P6
立川市スキー連盟顧問 澤田弘明 .....	P7
羽村市スキー連盟顧問 齊藤俊明 .....	P8
小平市スキー連盟 (SAK) 50 年のあゆみ .....	P9
加盟クラブ紹介 .....	P12
理事会および役員紹介 .....	P19
スキースクールの現状 .....	P23
「あの日、あの時」 .....	P24
エッセイ集「スキーと共に」 .....	P31
各種大会の記録 .....	P40
指導員の紹介 .....	P50
会員名簿 .....	P53
編集後記 .....	P55



## 創立50周年を迎えて

小平市スキー連盟  
会長 小川英夫

小平市スキー連盟が1962（昭和37）年に誕生し今年で満50周年を迎えることが出来ました。これまで来れましたのは長い間私達小平市スキー連盟に携わってこられた多くの役員を始め指導員そして会員の皆様と一般市民の皆様の方々の恩恵に対し深く感謝を申し上げます。

1962年3月当初現在の名誉会長であられる馬場和男氏を中心とした、都庁職員の皆様、小平市役所職員の皆様、小平在住のスキー愛好者が集って準備会を開き、10月1日市制記念日を創立日とし、その年の11月2日（金）に市役所（現在の仲町公民館）に於て盛大な創立総会を開催しました。会長には新市長の小川睦郎氏をお迎えしました。

翌年の1月19日（土）～22日（火）まで、オープンしたばかりの苗場国際スキー場で第1回小平市民スキースクールを開催し、参加者全員で小平市スキー連盟旗のお披露目滑走を盛大に催しました。

次のシーズンには菅平高原スキー場で第1回小平市民スキー競技大会を催し、折からのスキーブームに乗り市内クラブは10を越え団体戦も催されるようになりました。

1970年には親子一緒の市民ファミリースキースクールを開催、その後のジュニアスキースクールに名称を変更し現在に至っております。

1982年第1回小平市民基礎スキー選手権（後に技術選手権）が行れ、昨年は東日本大震災の影響で中止になりましたが今年で第30回を迎え多くのテクニカル・クラウンを配出し、東京都スキー連盟からの求めに応じ技術専門員に馬場智司氏、小野泰成氏、安全対策には公認パトロールの織田久氏を出しております。

昨今、スキー人口は一時に比べれば減少傾向にあります。

今後の課題はジュニア層の育成、若年層の発掘、中高年層の盛上げ等問題は山積しております。

役員を始め指導員の皆様そして全会員皆様、スキー愛好者の市民皆様こぞって小平市スキー連盟をよろしくご支援の程お願い申し上げます。



## 創立50周年を祝う

小平市スキー連盟  
名誉会長 馬場和男

昨年 日本のスキーは100周年を迎え、昭和37年小平町が市政施行した年小平市スキー連盟が、発足しました。

発足当時は雪なし県の者にとっては愛好者の数少ないスポーツでした。

この地域では小平町役場にスキー部が在り、このスキー部を拠点に活動が、開始されました。

活発な活動は、大勢の市民の支持を受け、会員に技術指向も高まり、スキースクールや市民スキー大会が盛大におこなわれることに、成長致しました。

### 広報紙スキー連盟の広報紙

シュプールは 第1号は1964年に発行され、第56号までで、さまざまな情報をご案内し、また個人の氏名で成果などを記録しました。

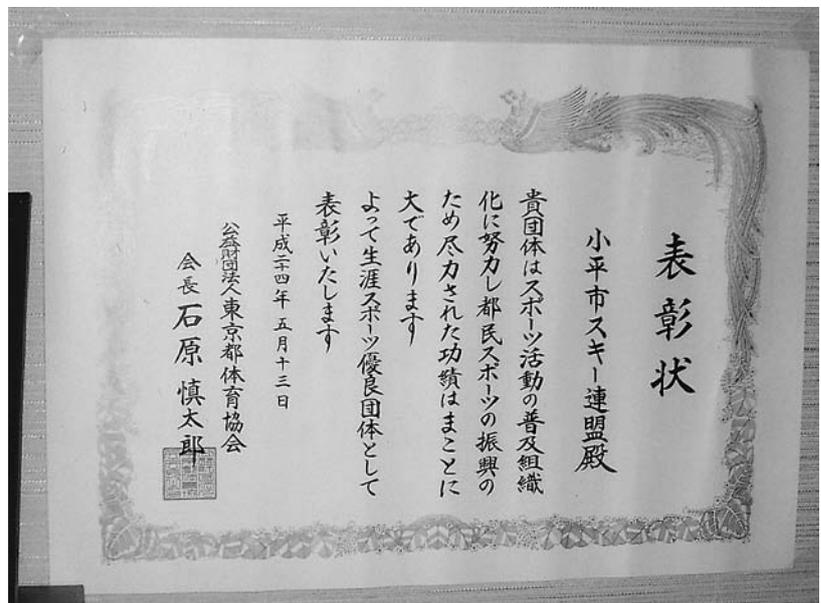
バッチテストの結果 各種検定の結果 競技大会の結果などです。

### 国体 インターハイ

当連盟の会員では、学生時代の河野秀彰 馬場雅哉さんは、出場経験が在ります。

### 終わりに

創立当初からの現役は、現会長の小川先生と、私の2人が頑張っています。





## 創立50周年を祝して

小平市長  
小林 正則

---

---

小平市スキー連盟が創立50周年を迎えられ、ここに記念誌が刊行されますことは、誠に意義深く、心からお慶び申し上げます。

昭和37年の創立から半世紀、関係の皆さまにはこの間の出来事や思い出の数々を、振り返っておいでのこととご拝察いたします。一方でこの50年の歩みは、スキーのように山あり谷ありで多くの困難に直面したものと思いますが、歴代会長をはじめ役員の皆さまの甚大なるご努力により、それらを乗り越えてこられたことと存じます。小平市のスポーツ振興に大きな役割を果たしてこられた皆さまの情熱に、深く敬意を表する次第であります。

さて、今年、小平市も市制施行50周年を迎えました。市では50周年を節目の年と捉え、さらなる50年に向けて、小平市政の新たな一歩を踏み出していく好機であると考えております。高齢化が進む社会で、健康ではつらつとしたまちをつくっていくにあたり、生涯スポーツであるスキーの存在は不可欠なものであります。ともに60周年、70周年へと前進していくべく、関係の皆さまの引き続きのご活躍を心より期待しております。

ところで、未来へ向かって進んでいくにあたり、豊かな雪や自然環境があつてのスポーツであるスキーは、地球温暖化という環境問題に向き合わなくてはなりません。市でも温室効果ガス排出量の削減をはじめ、環境に配慮したまちづくりを推進しているところであります。今、できることに取り組み、私たちが白銀の世界で得てきた感動を、未来を創る子どもたちへ伝えていきたいものです。

結びに、記念誌の編さんにあたり御尽力された方々に対して深く感謝を申し上げますとともに、小平市スキー連盟の益々のご発展と、関係各位のご健勝を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



## 小平市スキー連盟

### 創立50周年を祝して

小平市体育協会  
会長 小川 潔

スキー連盟創立50周年心よりお祝い申し上げます。

スキーの原点は神話の世界にまでさかのぼると聞いて驚きました。古代のスキーは雪上の歩行具の“かんじき”が原型と聞きこれにも驚いています。やがてノルウエーでスキー部隊の練習成果を競技として始めたのが競技スポーツの始まりであり、北欧にスキーが広まったという。日本の初スキーは1902(明治35年)八甲田山雪中行軍遭難事件が切っ掛けになり、交通手段としてのスキーが発達したといえます。ここにも軍隊の組織的な導入への切っ掛けがあったようです。

日本のスポーツとしてのスキーは先人たちによって発展したと言えます。訪日し、日本のスキーに決定的な影響を与えたシュナイダーの話題はあまりにも有名です。猪谷千春は昭和31年の冬季オリンピックのスラロームで2位になり、日本人初めてのメダリストになりました。私は当時社会人一年生、先輩に連れられて草津スキー場へ行った記憶が鮮明に残っています。スキーを履くだけで滑れるものではなく、散々な経験に終わったことを記憶しています。スキー場への道のりも大変な時代であり、前夜発のスキーバスで夜を徹して現地に到達したものです。スキー用具も整備されたものを手にすることにも苦労しました。さまざまな苦労を乗り越えて継続し技術を身に着けた当時の人達を尊敬の目で見ています。

そのような時代背景の中、スキー環境の整備とスキー連盟創立、発展のために渾身の努力をされた当時の関係者の皆様に敬意を表します。

スキー熱が一段と高まったのは1972年(昭和47年)の冬季札幌オリンピックでした。70m級ジャンプの笠谷、金野、青地の金銀銅。1998年(平成10年)岡部、斉藤、原田、舟木のジャンプ団体の金。ノルディックの荻原の金等、記憶に焼き付いています。日帰りでも楽しめるようになったスキーの魅力はこれからもスポーツの夢であると思います。

小平市スキー連盟の地道な努力は、スキー愛好者にとって欠かせない存在であり、青少年のスキーへの足掛かりとして大きく寄与していることは衆人の認めるところです。中学校の移動教室の多くはスキー教室です。生徒たちの多くは初めての体験であり、興奮と驚きでスキーの魅力を感じています。社会人にスキー体験と、技術向上を促すスキー連盟の事業に期待するところ益々大であります。

今後は、体育行政の担い手として、地域に根差したスポーツの振興を期待される体育協会にとって、貴団体はじめ加盟諸団体の支援と協働が最大の条件であります。

スキー連盟の益々の発展をお祈りし、お祝いの言葉といたします。



## 創立50周年を祝して

東京都スキー連盟  
会長 猪谷千春

このたび、小平市スキー連盟が創立50周年を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

貴連盟は、小平市が昭和37年市制施行と同時に設立したと承っております。

今日まで幾多の困難を乗り越え、連盟発展のために尽くされた関係者の御努力と御労苦に対しても深く敬意と感謝を表します。団体の育成、指導者の養成、各種スクールや競技大会などの諸事業を積極的に展開され、最盛期には会員数500余名、指導員数70余名を有する有力団体とし市民スポーツの振興にご尽力されてこられました。また、東京都スキー連盟にも永く役員や専門委員の派遣、そして小平市スキー技術選手権大会の開催など多岐に亘って貢献されてこられたことに深甚なる敬意を表します。

さて、スポーツは、人格の形成、体力の向上、健康長寿の礎であるとともに、地域の活性化など、明るく豊かで活力に満ちた社会を形成する上で欠かすことのできない存在であります。

一方、少子高齢化社会を迎え、学校と地域の連携、健康増進、体力向上、子育て支援など、地域が抱えている様々な課題に対峙しなければならず、スポーツ振興は従来にも増して重要な責務となっております。

「緑と活力のあるふれあいのまち小平」と謳う小平市民の方々から、今後も貴連盟に寄せられる期待は、これからも無くてはならない存在と認識しております。

創立50周年を機に、貴連盟が市民への貢献のため更なる活動を展開され、青少年から高齢者の方々まで生涯スポーツとしてのサポートを念願してやみません。

終わりに、貴連盟の今後のますますのご発展と関係各位のご健勝、ご活躍を祈念いたしまして私のお祝いの言葉といたします。



## 50年の道のりを想う

立川市スキー連盟  
顧問 澤田 弘明

地域にしっかりと根を下ろして、活動の幅を広げ、内容の質を高めながら、順調に組織の充実を図って、今や有数の大クラブに発展した小平市スキー連盟が、創立50周年の意義ある年を迎えられましたことは、その道のりを想うにつけても、まことに慶賀にたえません。

戦後の虚脱状態からようやく抜けて、日本が一步一步再興の道を歩き始めた時期に合わせるかのように、スキー連盟を結成し、国民が求めていたスポーツ振興の一翼として、スキーを愛する有志の方々が、その普及発展に乗り出しました。それから50年、歴代の役員・会員の皆様の並々ならぬご努力により、多くの市民が普通では味わえない冬季スポーツの魅力を楽しめるようになりました。今やスキーはジュニアからシニアにいたるまで、広く楽しめるスポーツになっています。生涯スポーツとしてこれほどふさわしいスポーツはありません。100歳のスキーも夢ではなくなっています。スキー愛好者の一人として嬉しい限りです。

スキーが生涯スポーツとしてさらに多くの人々に受け入れられるためには、技術の普及にもそれなりの配慮があって然るべきかと思えます。体力に頼り、体力にまかせて滑るのではなく、外力（重力など）の作用を巧みに活用して、もっと体にやさしい滑り方を工夫する必要があります。力（内力）を入れることよりも、力を抜くことを覚えれば、スキーはいつそう楽しくなります。

今年1月、イタリアのスキー場を訪れる機会がありました。現地のスキーヤーは、年齢にかかわらず、一様に2軸運動で滑っています。固くしまった急斜面でも、安定して軽々と降りていきます。決して無理な体の使い方をしていません。アルタ・バディアのスキー場では、たまたまスキー教師が7、8名の子どもたちを先導して、トレーンで滑っているところに出会いました。プルークボーゲンでのトレーンでしたが、その滑り方は2軸運動そのものです。イタリアでは新しい運動要領が確実に根付いているのを目の当たりにしました。

生涯スキーを考える場合には、このような視点を度外視するわけにはいきません。多くのシニアの方々とともに、外力利用と身体操作の整合性を尋ね続けてきた経験からも、そのことを強く体感しています。

小平市スキー連盟が豊富な指導経験を活かして、末永く市民に喜ばれるスキーの普及発展に、これからもリーダーシップを発揮してくださることを祈ります。

50周年、まことにおめでとうございます。



## 創立50周年を祝して

羽村市スキー連盟  
顧問 齊藤俊明

小平市スキー連盟（SAK）創立50周年、誠にありがとうございます。昭和37年に加盟した日立武蔵スキー部のOBとして心からお祝い申し上げます。そして小川会長はじめ、創立期からSAKの発展、全日本スキー連盟（略称：SAJ）の目的でもある「スキーの普及及び振興を図り、もって国民の心身の健全な発達に寄与する」を念頭に、市民の心身の健全な育成と向上、親睦の輪を広げるべく、小平市スキー連盟がご尽力されてきていることに深く敬意を表する次第です。

思い起こせばSAK事業で季刊シュプールの発行、蔵王で行ったスキースクールでの食中毒事件、アカシヤ通りでのスキー用品バザー開催、根子岳ツアーでその頂上でのラーメン昼食、スキースクール恒例だった上級者朝駆け新雪スキー、BSスキー部員を主力とした都民大会での活躍、昭和50年にSAK所属会員生粋のSAJ正指導員誕生、平成2年には初のSAT専門委員を排出するなど、スキーを愛する皆さんと歩んで早や50年になります。SAK50周年を迎えて今では専門委員、安全対策専門委員を多数抱えるという東京都スキー連盟（SAT）でも屈指の連盟になり、感無量であります。私ども羽村市スキー連盟もSAKを推薦紹介団体として昭和53年にSATに加盟させていただきました。

さて、スキーというもの、吹雪にでもなったら、もう二度と来るものかと思い、ちょっとバランスを崩せば冷たい雪の中へ。下が柔らかい雪だったらまだしも、アイスバーンだったら痛いことこの上なし。他人と衝突しないように常に気配り、心配りをしてゲレンデ全体を見て滑走していなければならない。転倒して困った人がいれば助けてあげる。スキーをやる上では互譲の精神も大切な要素です。でもどんな変化や状況にも「負けるものか」と立ち向かっていく姿勢、常に前に進む（稀に後ろ向きに滑ってしまうことが最初の頃にはありますが・・・）スキー。自然と共生し、いろいろなことを克服、身につけて、上手になれば真っ白な処女雪にシュプールを描く。道なき道を切り開いていく新鮮さ、爽快さ、心地よさ。それらを一つ一つ克服していくことはベンチャービジネスの成功者のような気分になります。スキーというスポーツを通じて自らの心身の鍛練、健全な育成が出来るのです。そういった意味では、柔道、剣道と同じように、「スキー道」といっても過言ではないと思っております。

SAK創立50周年を記念し、スキーの素晴らしさとスキーによって今でも素晴らしい友人が存在し、その皆さんとの「絆」を保つことができているということに感謝してお祝いの言葉と致します。

## 50年のあゆみ

昭和37年（1962年）

- ・スキー連盟創立（10月1日）
- ・スキー連盟設立総会（11月2日）。会員120名
- ・初代会長 小川睦郎

昭和38年（1963年）

- ・第1回市民スキースクール開催（苗場）
- ・会長 石田健一

昭和39年（1964年）

- ・第1回スキー大会開催（菅平）
- ・冬季都民大会に初参加  
監督 吉井宗次郎 選手 小谷安弘 小川英夫
- ・東京都スキー連盟（SAT）に加盟 加盟番号 165  
紹介団体 立川市スキー連盟

昭和40年（1965年）

- ・小川英夫 SAK初の準指導員資格習得
- ・機関紙「シュプール」創刊
- ・スキースクールでバッジテスト開催
- ・会長 有馬純一

昭和42年（1967年）

- ・第1回ファミリースキースクール開催（車山）
- ・会長 金沢一雄

昭和45年（1970年）

- ・小川英夫 SAK初の正指導員資格取得
- ・第2回都下スキー大会で団体総合2位

昭和48年（1973年）

- ・会長 箭内 武

昭和49年（1974年）

- ・東京都体育協会より優良団体として表彰をうける

昭和51年（1976年）

- ・鈴木優、桐生正平、SATデモンストレーター予選会（現技術選）にSAKより初参加。
- ・馬場悦子 最小年齢（20歳）準指導員合格

昭和52年（1977年）

- ・連盟創立15年式典・祝賀会開催
- ・小平市体協より感謝状を受ける
- ・会長 吉井宗次郎

昭和54年（1979年）

- ・東京都クラブ対抗競技会で総合3位

昭和55年（1980年）

- ・桐生正平、SAKで初めてのSAT普及部（現教育本部）専門委員となる

昭和56年（1981年）

- ・第1回小平市スキー記録会（大回転）開催（浅貝）
- ・都民大会で男子総合4位。
- ・会長 馬場和男

昭和57年（1982年）

- ・第1回小平市スキー技術選手権大会開催（二居）
- ・小平市スキー指導員会発足（20名余）。

## 50年のあゆみ

昭和58年(1983年)

- ・SAJトップデモ、佐藤正人氏による講演会開催

昭和60年(1985年)

- ・保坂淳司、SAKで初のスキー公認パトロール資格取得

昭和61年(1986年)

- ・馬場智司、SAT普及部専門委員
- ・保坂淳司、SAT安全対策部専門委員
- ・SATより優良団体として表彰をうける

昭和62年(1987年)

- ・中高年を対象とした「マスターズ・スキースクール」を開催して好評を得る  
(マスターズスキークラブ結成へ)
- ・連盟創立25周年記念式典・祝賀会開催(福社会館)  
鈴木優、池田清治、金沢一良、馬場悦子、桐生正平、表彰される

平成元年(1989年)

- ・小平市スキー大回転競技会を開催(浅貝)
- ・小川英夫 東京都体育協会より社会体育功労賞を受賞
- ・矢口道雄 SAK初のクラウンプライズ取得

平成3年(1991年)

- ・篠原幾也、都民大会で優勝
- ・小野泰成、SAT教育部専門委員

平成4年(1992年)

- ・馬場和男、東京都市町村体育協会連合会より社会体育功労賞を受賞
- ・創立30周年記念式典・祝賀会開催(BSクラブ)  
土橋芳男、保坂淳司、馬場智司、涌坪義明、柳下重夫、表彰される
- ・第10回小平市スキー技術選手権大会(菅平へ移動)

平成5年(1993年)

- ・第1回ジュニアスクール開催
- ・馬場和男、東京都体育協会より社会体育功労賞を受賞

平成7年(1995年)

- ・ジュニア育成に向けてジュニア部発足
- ・大久保康男 全日本スキーパトロール技術競技大会 総合6位(東京Aチーム)
- ・大久保康男、SAT安全対策専門委員
- ・会員登録等のOA化始まる

平成9年(1997年)

- ・馬場和男、箭内武、全日本スキー連盟(SAJ)基礎スキー功労準指導員に認定される
- ・織田久、SAT安全対策専門委員
- ・ジュニアチーム発足(会員数約36名)

平成10年(1998年)

- ・小川英夫、全日本スキー連盟(SAJ)基礎スキー功労指導員に認定される
- ・馬場和男 SAT監事就任

平成11年(1999年)

- ・織田久 全日本スキーパトロール技術競技大会 種目別準優勝(三角巾包帯法)(東京Aチーム)
- ・織田裕美 同上大会 女子の部 総合優勝(東京Bチーム)

平成12年(2000年)

- ・渡辺章 SAT教育本部専門委員

## 50年のあゆみ

平成13年(2001年)

- ・河野秀彰 第50回全国高等学校スキー大会出場  
第56回国民体育大会スキー競技会出場

平成14年(2002年)

- ・テク・クラ検定資格をSATから受ける。
- ・小川英夫、テクニカル合格(66才)
- ・河野秀彰 第51回全国高等学校スキー大会出場  
第57回国民体育大会スキー競技会出場

平成15年(2003年)

- ・河野秀彰 第52回全国高等学校スキー大会出場(SL32位)  
第58回国民体育大会スキー競技会出場

平成17年(2005年)

- ・河野正清 SAJ公認B級 第2回東京都マスターズスラローム競技会 第4組 2位

平成18年(2006年)

- ・関口恒子(受験年の都連準指導員受験者で女性合格者の最高齢合格者;70歳)
- ・馬場雅哉 紀晃太、志和昌平 第55回全国高等学校スキー大会出場
- ・馬場雅哉 第61回国民体育大会スキー競技会出場

平成19年(2007年)

- ・河野正清 SAJ公認B級 第2回東京都マスターズスラローム競技会  
第4組 第1戦 4位、第2戦 3位

平成20年(2008年)

- ・河野秀彰 第61回都民大会 男子1部 優勝
- ・小川英夫 SATマスターズ選手権 男子2部 優勝

平成21年(2009年)

- ・河野秀彰 第62回 都民大会 男子1部 優勝
- ・小川英夫 SATマスターズ選手権 男子2部 優勝(2連勝)。
- ・小川英夫 会長就任

平成22年(2010年)

- ・小川英夫 SATマスターズ選手権 男子2部 優勝(3連勝)
- ・馬場和男 名誉会長就任

平成23年(2011年)

- ・3月11日 東日本大震災により、技術選・プライズ検定・ジュニアスクール中止
- ・鈴木一郎 SAJ公認B級 第8回東京都マスターズスラローム競技会男子5組 第2戦 2位
- ・馬場智司、酒井晃、森屋建男の3名 副会長就任

平成24年(2012年)

- ・馬場雅哉 最小年齢(23歳)正指導員合格
- ・第30回小平市スキー技術選手権大会開催
- ・東京都体育協会より表彰受ける(生涯スポーツ優良団体)
- ・50周年記念祝賀会(国分寺L)(予定)

## 加盟クラブ紹介

# スプリントスキークラブ

会長 湯澤 順一 夫

当クラブは昭和 37 年（1962 年）、小平市スキー連盟の発足と同時期に現小平市スキー連盟会長の小川氏が創設した、小平市では老舗中の老舗クラブです。当時小川会長を中心に「エレガントスキークラブ」という名前で活動を開始。その後「スプリントスキークラブ」に名称を変更し、現在に至っています。

企業等特定の母体のない、寄せ集めクラブですが、とにかくスキー大好き「老若男女」集団です。最近「若」は二世しかいませんが。

小川会長を慕うスキー馬鹿が集い、そのスキー馬鹿を慕ってまたスキー馬鹿が集い、そのスキー馬鹿を慕うスキー馬鹿が集い……。スキー絶頂期には会員数が膨らみ一時 100 名を超えていましたがその後時代の流れで徐々に減少し、現在では会員数約 50 名、うち約 10 名は休会中でいつか復帰を目指しています。



シーズン中は月に 1 回ペースで合宿を実施しています。基礎スキーがメインですが、ポール初心者にも優しいゲートトレーニングや小平市の大会への参加なども楽しんでいます。

当クラブの一番の自慢は居心地の良さではないかと思えます。メンバーは皆個性的で、スキー技術は様々です。滑り方もそれぞれのペースで楽しんでいます、スキーを愛する気



持ちは皆同じ。合宿以外でも一緒に行動する会員が多く、シーズンオフも一緒に遊んでいます。

先輩方に作っていただいた小平市スキー連盟とスプリントスキークラブは私たちの宝物です。

雪は新雪、天気もサイコー！！  
(スプリント 石打合宿 2012 年)

## 加盟クラブ紹介

# ルネサススキークラブ

幹事長 鈴木智博

小平市スキー連盟五十周年、おめでとうございます。

わがスキー部もスキー同好会からスタートして、ちょうど五十周年となり、SAK と共に歩んできたこととなります。

現在の部員数は、正指導員7名（公認パトロール1名、専門委員1名含む）、準指導員9名、1級9名を含め、総クラブ員数37名で活動しております。

一時、行事への参加者数が落ち込んでいましたが、2月に八方尾根合宿を始めたところ、活気あふれる合宿となってきました。只この不況で当スキー部員もあちこち転勤があり、取りまとめに苦慮しているのが現状です。その為、指導員の派遣や、理事役員などで連盟に大変ご迷惑をおかけしております。事情御賢察の上ご容赦ください。

わがクラブの50周年にはOB含め、多数の参加してもらえる行事を企画し、スキーから一時離れていた人にも、もう一度スキーに興味をもってもらえるようにしたいと考えています。



SAK創立 50 周年おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

さて、エクセレントスキークラブは 1982 年チョッカリスキークラブに所属していた数名のメンバーがのれん分けしてもらい、JOYFUL SPORTS FAMILY EXCELLENTとして設立しました。スポーツを通じて友情・出会い・技術の向上を目的とし、スキー・テニス・マリンスポーツ等の活動をしてきました。設立当時 20 代の若いメンバーが中心で毎週会員みんなで作ったテニスコートでテニスを楽しみました。冬になると毎週菅平で合宿を行い、メンバー同士がスキー技術を追求し、夜遅くまでスキー談議に花を咲かせました。

90 年代に入るとメンバー同士の結婚やジュニアメンバーの加入があり、エクセレントジュニアチームを設立し、基礎スキーのみにとどまらず、競技スキーにも力を注ぎました。その結果、インターハイや国体にも選手を送り込むことが出来、幅広いジュニア層の活躍が有り、大いに盛り上がりました。



会員数もバブル時には 100 名を超える大所帯になり、お正月合宿では女性の数が多すぎて自家用車の手配が出来ず、大変な思いをしたこともありました。

昨年創立 30 年を無事に迎えることが出来、2011 年 10 月には盛大に記念パーティーを行うことが出来ました。メンバーは親子 2 代活動しているものやスキーから少し離れてしまっているメンバーなど様々でしたが、みな活動していた時の自分に戻り楽しい時間を過ごすことが出来ました。

エクセレントはこれからもずっとアットファミリーの雰囲気を受けながら、活動を続けていきます。

小平市スキー連盟と共に歴史を刻んでいきたいと考えています。

2012 年会員 45 名 (指導員 10 名・準指導員 11 名・パトロール 1 名)

## 加盟クラブ紹介

# 小平マスターズスキークラブは どんなクラブ？

会長 森屋建男

以前、市民スクールのバッジテストでマスターズの2級とか擲揄されたりして連盟の中ではちょっとお荷物的存在に見られがちでした。でもその行事はマスターズの多くの参加者があり、お荷物どころか行事を支える屋台骨でした。今はその行事も風前の灯状態・・・最近のスキー人気を表しているようです。それでもマスターズのクラブ内スクールは25～30人の参加者があり、他の3つのツアーも平均20～25名ほどの参加者があります。連盟のスクールに参加しなくなったのは、ほとんどの方が級を取得したり、クラブ内のほうが楽しいなどの理由がありそうです。

その我がマスターズも創立25周年を今期迎え、高齢化（最初から？）ハイ、より高齢化しています。平均年齢が70を超え、新入会員がほとんどなく、会員数も1991年の62名をピークに現在は39名、発足した1988年の27名以来の少なさです。39名のうち女性は16名で入会条件のひとつである“美人”は今でも健在です。

各ツアーもマイカーでは危険ということで近年は全てバスで行っています。その乗る場所は花小金井、ルネこだいら、中央公民館、東大和近くのバス会社とデイサービスのように便利化しています。そうです、楽で楽しくがツアーのモットーです。帰りのバスの中でのメは会員が作詞した「マスターズ讃歌」“高原列車は行く”で盛り上がりまして終了です。

♪バスの窓から 望む彼方に 真白き峰々 我らを待つよ

明るい笑顔に 溢れる意欲 山越え谷越え はるばると

ランランラン ラランラン 我らはマスターズ ラン・行くよ～♪

♪白銀広がる ゲレンデ眩し 楽しい仲間と シュプール描く

弾ける滑りに みなぎる若さ 山越え谷越え はるばると

ランランラン ラランラン 我らはマスターズ ラン・行くよ～♪

♪見送る湖 また会う日まで 茜の雪山 また来る誓い

満ちたる心は 明日を夢見る 山越え谷越え はるばると

ランランラン ラランラン 我らはマスターズ ラン・行くよ～♪



2010年忘年会

笑われるかもしれないが正しく老人会そのものです。一致団結！です。

周年行事の海外ツアーは10年目のウイスラーに19名、15年目も同じところに21名、どちらも多く方がヘリスキーで思い出を

作っています。20年目はバドガシュタインへ17名、こちらは現地でトニーザイラーが1858年ワールドチャンピオンシップを取った50周年記念式典に奥様とオープンカーで登場し、クラブ員は日本人を代表して？傍に寄って握手し一緒に歡喜しました。今シーズンはバイルへ有志10数名で行く予定ですが、そろそろ大勢で遠くまで行くのは今回が最後かもしれません。

「マスターズ通信」なるものを毎年11月に発行し、次期ツアーの案内のほか、終わったツアーの感想文、また個人的な寄稿文や趣味のことなど写真が盛りだくさんの“自己讃歌便り”です。クラブ活動が会員の生きる活力になっているのはスキーばかりでなく、ゴルフでは4月から始まる1泊2ラウンドの開幕戦、クラブ選手権を含めた年4回の定期コンペをやっています。会友の広がりも増えて、この9月のコンペは5組と盛大に行われる予定です。通年を通して天神のコートではテニスを毎週やっていますし、ことある毎のカラオケも欠かせません。毎年秋の一泊ハイクは、今年は“頑張ろう！ふくしま”で観光も兼ねて安達太良山に登ることになっています。去年の一泊ハイクは旅の途中に入った女性の露天風呂で賑やかな声が聞こえたと思ったら、なんとデジカメを持ち込み、8人の女性たちが風呂での裸の集合写真を撮って騒いでいたようだ。マスターズ通信にその気持ちよく入っている露天風呂写真を見れば今も“美人”が納得できます。撮ってもらうのも勇気がいるが・・・掲載して好評なのも可らしいし、納得です。

しかし高齢化＝病気・介護が迫ってきています。本人だけでなく伴侶の場合もあります。腰、膝、痛いところも出てきます。年金生活でゆとりも少なくなってきました。だからスキーができるのは本当に幸せです。うっかりも増えて出発日や時間を間違えたり、用具を忘れたり・・・してでもです。我々の合言葉は“今年もスキーができますように！”です。

今年初めて発表された厚生労働省の“健康年齢”という基準は人の世話にならない生活(介護を受けない生活)ということですが、介護を受け始めるのは平均で男性70.4歳、女性73.6歳だそうです。ちょっと早過ぎます。これですと我がマスターズの年齢はもうスキーどころではなくなります。当然我がクラブの健康年齢はスキーができるか、できないかです。いつまでも何とか滑れることがマスターズの健康目標です。

戦争、戦後を生き抜いた我々は困窮の重い雪に耐え、競争の風に耐え、経済発展を経験し、何十年も生きてきました。最近の沈んでいる経済環境にある人生の後半も、たとえ雪が降ろうが、風が吹こうが、♪我らはマスターズ ララランラン・行くよ～！！♪



2011年クラブ内スクール岩鞍の宿で

## 加盟クラブ紹介

# アルペンスキークラブ

代表 河野正清

2010年に競技スキーヤー、8名で新しいクラブを設立しました。活動は主に東京都スキー連盟公認の競技スキーレースへの出場となっています。スキーは、とにかく楽しく滑りたい、速く滑りたい。そんな想いを共有したくて活動しています。合宿は、RACH（東京都スキー連盟加盟クラブ）と、中学生、高校生、大学生のチームと一緒に、北海道・北見で行っています。



ダイシストスキークラブは当初、農協関係者が集まってつくったクラブです。故に名前の由来も農協で扱っている除草剤『ダイシストン』からきました。現在は農協に関わる者は預金者ぐらいでサラリーマン、自営業、公務員と農協とは無関係のメンバーです。私達ダイシストは有資格者4人と他2人の少人数なクラブです。クラブの規約とか制限など堅苦しいことは設けていません。だから気が向いた時に連絡し合って集まってみたりスキーに出かけたりしています。ゲレンデでは雪に戯れて一方向ではなくお互いに聞く耳をもって意見を述べ合っています。スキルが向上するよう納得するまで滑りこんで楽しんでいます。ホームゲレンデは志賀高原、菅平高原を主にして常宿を設けています。少人数のクラブのおかげで土壇場でも泊まれることもできるし宿にはご迷惑をおかけしますが急なキャンセルも可能です。オフシーズンはウィンドサーフィンをしてバランス感覚をやしなったり心臓に負担をかけないようイメージしながら歩いたりしています。



以上の他に以下のクラブが小平市スキー連盟に加盟しています。

日立国際スキークラブ

# 理事会および役員紹介

## 理事会について

理事長 大久保康男

小平市スキー連盟規約 第三十一条 「理事会は本連盟の会務を執行する機関である。」とあります。

会員の方々はなじみが薄いと思いますので、以下にその構成と職務ほかを記します。

### 1. 理事会の構成と職務

理事会は部制をしいており、現在、事業部・教育部・競技部・総務部があります。これらの4部に会長・副会長・会計・理事長を含めて、理事会が構成されています。

理事の方々は、いずれかの部に属することを基本とし活動しています。各部の活動については各部のページをご覧ください。各部間の連絡や予算の決定、執行等の重要な決議事項については、原則月1回開催される理事会（会合）にて審議が行われます。緊急を要する場合などは定例の理事会とは別に、常任理事会や臨時理事会が召集される場合もあります。

### 2. これからの理事会

スキー人口が少なくなり、各クラブの人数も減少の一途をたどっているのが現状です。連盟規約にある、「市民の体位向上」や「各加盟団体及び関係諸団体との親睦を図る」を目指して事業を行っていますが、ここ数年参加者低迷が続いており、事業内容を見直す必要性を感じています。

経済的、時間的ゆとりを社会全体が取り戻さないことには、事業展開が厳しいのかもしれませんが。

また、各クラブから選出いただいている理事の多くは、仕事でも中心的な存在であったり、他の団体でも同様な立場であったりする方が多く、理事の活動がなかなかできない方もいらっしゃいます。必然的に参加する理事の方に負荷がかかることになり、仕事量の差が生まれます。この仕事量の差を如何に解消し、みんなで運営する理事会（連盟）にするか。これも事業内容とともに再考すべき点と考えています。



理事会風景

# 理事会および役員紹介

## 総務部

総務部長 千葉正胤

(概要)

総務部の仕事は大別して

- ①理事会（1回 / 月） 議事録の作成
- ②総会の開催
- ③会員データ登録（SAT, SAJ）
- ④都連スクール報告

であります。

(問題点)

会員の日常の仕事が多忙のため、理事会の欠席が多く、会員データ登録が期限ギリギリになることです。



## 教育部

教育部長 磯部勝博

教育部の活動内容は大きく 2 項目に分かれます。ひとつは指導員受験サポート関連。そして、もう一方は SAK 技術選（一昨年から副題でオール東京技術戦）・プライズ検定の企画関連で担当するメンバーもすべて、いずれかの担当に分かれ業務を遂行します。

前者の内容は指導員／準指導員検定の養成課程のサポート（小平市スキー連盟独自の養成講習会、他）、検定会に関する詳細情報の伝達等が主たる業務です。

また後者の内容は毎年 3 月に開催の SAK 技術戦・プライズ検定の企画／運営に関する事で都連はじめ SAK 他部署、他スキークラブ、開催スキー場、スキーマーカー、スキー用品販売店まで巻込んでの企画をたてます。3 月の開催ですが秋口（スキーシーズン前）からの打合せが必要で各メンバーが仕事後に参集し夜遅くまで打合せを実施します。両イベントが無事に終わった時点で教育部の主な業務は終了致します。

# 理事会および役員紹介

## 競 技 部

競 技 部 長 大 西 岳 宏

競技部では、会員の競技技術を高めるために練習会（レーシングキャンプ）の開催や毎年1月には、小平市市民大会（回転競技、大回転競技）を開催運営しています。市民大会の上位入賞者は、毎年3月に開催される東京都民体育大会冬季大会の回転競技に小平市の代表選手として選手派遣を行っており過去に上位入賞者を輩出しています。大会や練習会の運営には、ポールのセットやコースの整備、タイムの計測など人手が必要であり競技部員のみでの運営では困難であり参加者の皆さんの温かいご協力により運営されております。

近年、スキー離れが進み最盛期には100名以上参加していた市民大会もここ数年は参加者が減少傾向となり、大会会場を変更したり、開催日程を見直すなどの取り組みをしていますが、中々参加者が増えず頭を抱えております。

以前のように多くの会員が参加し、そして連盟から育った選手が、東京都の大会や国体で活躍する日を夢見つつ活動を行っております。

## 事 業 部

事 業 部 長 酒 井 晃

事業部として、会員・市民の皆様のスキー技術の向上・健康増進を目的に事業活動しております。ひと頃のスキーと言えば、誰もが白銀のリゾートへ向かい、仲間同士、家族旅行、またカップルでとスキー場に行かない人は居ないほどでありました、私ども連盟の主催する行事にも参加者が多く、盛りあがったツアーを実施しておりました。しかし、ここ数年スクールへの参加者が減少傾向にあり、参加者を募ってもなかなか定員にならず、実施に苦慮しております。

現在の事業は、ジュニアスクールを年末2泊3日と年明け3月に1泊2日の2回実施し、大人のスクールは2月に実施しています。ジュニアスクールに参加する子供たちは、親元を離れた解放感にはしゃぐ子供も多く、ミーティングでは初めて会う子供たちがすぐに友だちとなり、仲間意識を感じるのに時間はかかりません。寝不足は、翌朝早くから行うスクールに影響します。講師は各部屋を巡回して就寝を促し、スクールの安全に配慮します。時代と共にスキー環境も変化していますが、スキースポーツをライフスタイルとする会員を始め、初めて雪山を経験する子供たちや、一人でも多くのスキーファンを作るために今後も活動して参ります。会員のみなさまには、同志の輪を広げていただき活発な活動で、スキーを生涯スポーツとして技術の向上と健康維持を目指し、今後も連盟活動にご理解、ご協力をお願い申し上げます。

## ～小平市スキー連盟役員～

(2012年8月末現在)

名誉会長	馬場和男
会長	小川英夫
副会長	馬場智司
副会長	酒井晃
副会長	森屋建男
理事長	大久保康男
副理事長	馬場智司（副会長兼任）
会計	河野正清
総務部（部長）	千葉正胤
（副部長）	逢坂寛光
教育部（部長）	磯部勝博
（副部長）	馬場智司（副会長兼任）
	池田雄介
	荻野敏行
	馬場雅哉
競技部（部長）	大西岳宏
（副部長）	田辺肇
	八重樫一仁
事業部（部長）	酒井晃（副会長兼任）
（副部長）	森屋建男（副会長兼任）
	杉山良人
	野崎隆之
	原山伸之
	喜多征子
監事	石川健次
	吉田昌弘

(小平市体育協会)

加盟団体代表者	小川英夫
加盟団体代表委員	千葉正胤

(東京都スキー連盟)

教育本部専門委員	馬場智司、小野泰成、織田久
----------	---------------

# スキースクールの現状

事業部長 酒井 晃

スキースポーツは、子供から年配まで生涯スポーツとして楽しむことができるスポーツです。私ども連盟では成人向けスクール、ジュニアスクールと幾つかのバリエーションでスキースクールを実施して参りました。しかし、経済不況や趣味の多様化などで近年のスキー事情は大きく変って参りました。

スキーが趣味として持てはやされた 1980 年代前半から 1990 年代半ばまではスキー黄金時代と言えたでしょう、スキー場のリフト待ち 1 時間はあたりまえ、ゲレンデは滑走人数が多すぎて、レッスンでも長距離滑降が困難なこともたびたびであったと記憶しています。もちろん、スノーボードの流行でスキーヤーにとってはゲレンデを占拠された思いを持たれた方も多かったでしょう。そのような中、スクール事情はと言うとリピーターの方々が盛況であり、毎年行うツアーは申込開始と同時にすぐに定員になってしまった時期が続きました。参加者のだれしもが白銀の世界を自由に滑る楽しみに魅了され、年齢を問わずレベル別に班別レッスンが盛んに行われました。小平市のスクール講師は、全日本スキー連盟公認指導員である事を PR し、安全で楽しいレッスンに心がけ参加者皆様に好評を得ていたと自負しています。スノーボードの流行と共にスキーを新たに趣味として行う方が減少し、スクールの参加者が毎年のように減ってきたのは 1990 年代終わりからだったのでないでしょうか、経済の冷え込みが余暇の過ごし方に大きく影響し、宿泊を伴うスキースポーツは敬遠されたのです。昨年に至っては、参加者不足で成人のスクールを行うことができませんでした。今後の活動は、小平市スキー連盟に加盟するクラブの会員が参加できる企画を考え、会員が気軽に参加するスクール作りを行って参ります。

一方、ジュニアスキースクールは、歩くことからスピードをセーブすること。そして、スピードのコントロールが正確に出来ることが指導の中心となります。力で滑るのではなく、リズムでコントロールすることがスキーを楽しむ原点と考えます。

子供も大人も滑った距離に比例して技術の上達を見ることができます。特に、ジュニアのスキー技術は、理屈ではなく少しでも長いコースを滑らせながら、また生徒自身で考えさせながら滑る事が滑走のセンスを磨くこととなります。初めは出来ないことが、出来るようになる、この喜びは生徒一人一人が感じて、子供達が帰京した後の学校生活にも役立つことでしょう。

ジュニアスキースクールでは、担当する指導者が技術のみならずゲレンデでのマナーと子供達の思い出をスキー人生のページにしてもらう事を願って今後も指導して参ります。

あの日、あの時



出発まえの準備体操です



全員そろったかな？（ちょっと寒いヨ）



最初は「ハ」の字で滑ります



天気が良いので頂上でパチリ



待ちに待った昼ごはん



先生の話をよくきいてネ

あの日、あの時



2010年菅平白金



試合前 気合は十分 (市民大会)



ドキドキドキ (スタート前)



エクセレント・レディース、一人番外



健哉選手スタート!

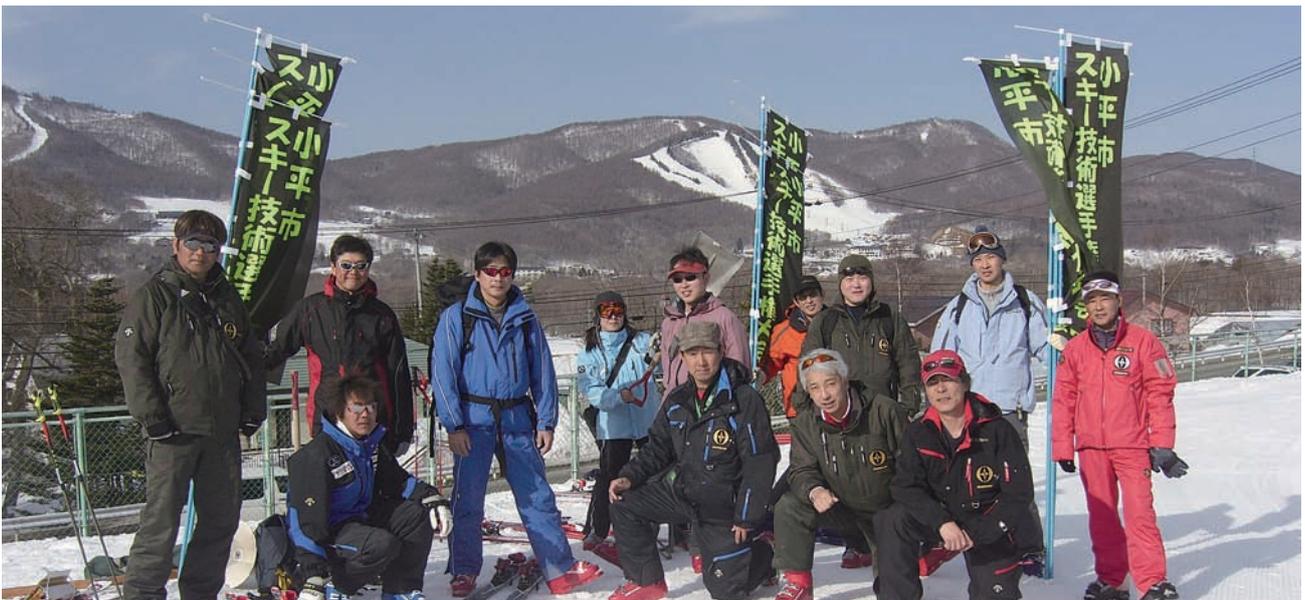
あの日、あの時



賞状ゲット！！



どんなもんだい



技術選大会役員一同 お疲れさまデス



年配組も頑張りました、ハイ



小平市市民大会 水上にて

あの日、あの時



年に一度の研修会（指導員研修会 2011年菅平）



スキーを愛する老若男女です（指導員研修会）



佐伯幸ナショナルデモ講習会 ジュニアも含めてスキー合宿（エクセレント）

あの日、あの時



1990年代エクセレントとスプリントの合同合宿



2008年マスターズ20周年記念海外ツアーのバドガシュタイン カートレインに乗ってモルタレー氷河で

あの日、あの時



2010年 志賀高原23名のツアー 東館山山頂でV組



2001年 15名でフランスのバルトランスへ モンブランを望む



2002年 北海道キロロへ ホテルピアノで帰りにバスを待ちながら



2003年 21名でウイスターへ ヘリスキーを終えて



2011年 志賀高原27名のツアー  
本日の宴会は「皆、主役！」



2011年 八方 いつものようにこれが楽しみ「飲んで騒いで・・・」

あの日、あの時



年に1回のスキー連盟総会（2012年6月）



準指、正指合格者の紹介（総会）



総会後の懇親会



スキーに乾杯！！



ちょっと前の総会

# 「スキーと共に」

## 結局スキーが中心なんでしょ

スプリントスキークラブ 市村具也

SAK創立50周年おめでとう御座います。

私も何らかの形で約半分の活動期間にご一緒させて頂いた事、誇りに思います。主幹となった方々に心から感謝します。趣味を超えてスキーを愛している証拠だと思います。

さて、私もスキーを愛して？しまった為に、それを中心とした生活や習慣が有ります。少し書き出してみました。

- ・ 自家用車は必ず4輪駆動
- ・ ゴールデンウィークまでスタットレスタイヤ
- ・ 東京在住でも必ず寒冷地仕様の自家用車
- ・ 冬のウインドウォッシャー液は原液注入
- ・ ETCカードは複数所有（少し古いけど）
- ・ (冬期は) 金曜の宴会は辞退
- ・ 階段を降りる際は2段飛び（今は無理）
- ・ 棒が目の前に立っていると逆手で突進（飲んだ後は特に）
- ・ 電車の揺れを使い同調運動
- ・ 都民なのに“東京は暖かい”と訳の解らない事をつぶやく
- ・ AtomicPowerと聞くと、競技用スキー板が思い出される→一般的には原子力だと！
- ・ 急坂を急斜面と言ってしまう



少し書いただけですが、一般的の人から違った目で見られる事間違い無いと思います。ただし、スキーを趣味にしている得た物も有るはずなので書き出してみました。

- ・ ダイヤモンドダストを生で見る事が出来た
- ・ マイナス20℃の吹雪を生で経験した
- ・ 雪の結晶を生で見る事が出来た
- ・ ウサインボルトより早く100mを移動出来る体験が生身で出来た
- ・ 生ビールのうまさを100倍感じる事が出来た
- ・ 家庭を築く発端となった？

そして、何よりもスキーを趣味した結果、

- ・ 同じ趣味の同じ目標に向かって損得無く取り組める大切な友人を得る事が出来た

その基盤となってくれたのがSAKで有り、盛り上げたのはそこに集う私たち会員だと思います。纏まりが無くなりましたが、結局・私達スキーが中心なんです。

皆さん、これからもスキー楽しみましょう。

# 「スキーと共に」

## スキー、そして SAK との出会い

エクセレントスキークラブ 佐々木 秀貴

小平市スキー連盟 創立50周年おめでとうございます。  
偶然にも私自身、生誕50年を迎え、半世紀を過ごしてきたことに感慨深いものがあります。

50年前を遡りますと、まだ、テレビが白黒の時代であったように記憶しておりますが、今ではデジタル放送に移り変わり、双方向での遣り取りが可能となるなど、当時からすると想像を超えたことが現実となっているように思われます。

一方、スキーの歴史を見るとちょっと意外でしたのは、50年前既にブーツメーカーのラングがプラスチックブーツを開発していたことや、1958年に東京都練馬区の豊島園に世界初のインドアスキー場が開業されていたとは驚きです。そして、この翌年の1959年（昭和34年）に『SAJスキーテキスト』が発刊されたことを考えると、この一冊がその後発足した小平市スキー連盟にとって繁栄する起爆剤になったことは言うまでもありません。



さて、小平市スキー連盟と私自身の関わりについて幾つかお話ししたいと思います。

### 【SAK との関わりとライフスタイルの変化】

幼少のころから体を動かすことが好きで（普通？）、草野球はほぼ毎日、ローラースケート、柔道、卓球、13歳から軟式テニスを始めるなど、勉強はほったらかしで体力づくり!?!は欠かせませんでした。その甲斐あってか、社会人になってから始めたスキーですが、完璧にのめり込んでしまいました。もともと、スケートでバランス感覚は養われていたのかもしれませんが、あの白銀の世界でまさに「重力による落下運動」から導き出されるスピードと宙に浮いた感覚は、スケートには無いものでした。と言っても、ただ、止まれなかつただけかも・・・（実は恐怖心が大半を占めた）そんなスキーの面白さが分かりかけてきた矢先に、小平市スキー連盟と出会いました。これを機に、「仕事は振り返るな! 目指せ年間滑走40日」の生活が始まったのです。

### 【技術の向上とともに、資格にチャレンジ】

先ず驚いたのは、連盟の組織体制がしっかりと確立されていたことです。年間行事には各種スクールをはじめ、競技大会や技術選手権など盛沢山。しかも、講師や役員の方々の丁寧な指導や社交的な人柄には感銘いたしました。このような恵まれた環境の下で自身の技術向上とともに、必然的に指導員への道を目指すようになりました。

小平市スキー連盟の指導員として活動させていただくことになってから、20年以上過ぎましたが、その間、連盟の教育部理事の拝命を受け、スクール講師の割り当てやスキー技術選手権のジャッジなど、貴重な体験をさせていただきました。

### 【多くの人との関わりをもつ = 財産】

最後に、私にとって小平市スキー連盟との出会いは、多くの人との出会いでもありました。自らのクラブ員はもとより、連盟を通して、他クラブの方々との情報交換やゴルフ・テニスなどの共通の趣味を通して築き上げてきた信頼関係は、本連盟無くして有り得ないものであり、連盟に関わる全ての人が掛替えの無い財産としてこれからも大切にしていきたいと思っております。

今後も小平市スキー連盟の益々のご発展をお祈りいたします。

# 「スキーと共に」

## 噫 スキー 感佩

### 小平マスターズスキークラブ 原山伸之



所属している小平マスターズスキークラブから、今年 50 周年を迎える小平市スキー連盟記念誌への投稿依頼があった。

断わる適当な理由も見出せず、今年から同連盟の理事を拝命していることも相俟って、拙稿でも良いなら…とややリラクタントに、引き受けることとした。

そもそも小平マスターズスキークラブの存在を知ったのは、職場の先輩Mさんからの紹介で、リタイヤ間もない6～7年前の頃であった。

早速、入会を申し出ると厳正な資格審査があるということで、危ぶまれた？らしいが何とかパスし入会させていただいた。

それまでは家族とのスキーが中心であったが、子供たちが就職したり結婚したりして一緒には行かなくなり、家内も10数年前苗場スキー場で靱帯断裂の重傷を負ってからは、段々とスキーから遠ざかり始めていたので、小生にとっては渡りに船であった。まさしく捨てる神あれば、拾う神ありで、以来同クラブの企画するツアーには好んで参加し、現在は事務局を担当し、自分も楽しむとともに、皆さんへのお世話などしながら同クラブへの恩返しに努めているところである。

その一環としての連盟理事拝命も、その延長線上にあると思考している。

スキーは高校時代の福島で初めて滑ったのであるが、対戦相手にあまり合わせることもなく、自然相手に自由勝手に出来るところが好きになって病み付きになり、大学時代のスキー合宿や、日奥スキー協会の蔵王講習会に参加する一方、福島近郊のスキー場に通い、腕前…いや足前を磨いた次第である。1級を取得したのも、福島の栗子国際スキー場である。当時の試験は現在の大回り、小回り、総合滑走等のほか、横滑りや平地滑走、ゲレシュプ、ボーゲンなどもあり、なかなか多種多彩な種目があったのだったなあと懐かしく回想している。

その後広島に転勤、ここでは職場仲間と県内のスキー場や鳥取県の大山等で滑ったが、地理的ハンディからスキー場へのアクセスはなかなか大変であった。

広島で長男、次男ともが誕生しているので、家内とはあまり一緒に滑る機会がなく、いつも1人で行く小生をあまり？文句も言わずに送り出してくれたことには感謝している。

北海道でも一緒に滑りたいと話していたら、天に通じたのか？次の転勤先は小樽である。

当時、長男5歳、次男2歳である。札幌五輪で公開練習場となった天狗山スキー場までは20分ほどで行けるため、土曜（当時は半ドン）、日曜と毎週家族で通い滑ったお陰で小生はもとより、家内、子供たちもめきめき腕を上げた。

ここで知り合った1人に、全日本のトップデモ、M氏が居る。スナック経営をしていて昼は毎日滑っていると聞き羨ましく思ったものである。

昨年、当クラブのM会長が小樽で正指を受験した際、連絡をしたら、受験前日にM会長の滑りを見てアドバイスしてくれたと、M会長が喜んでおられた。

小樽では、年末年始の長期休みにも折角北海道に住んでいるのだからと言って郷里（福島）に帰らず、ニセコや富良野、夕張等のスキー場に逗留した。福島の両親や、義父母からは正月くらいは孫の顔を見せに帰省したらと文句が出たことは言うまでもない…。今にして（孫をもつ身になって）思えば、随分と親不孝な愚息であったと反省している。

## 「スキーと共に」

小樽生活4年間の後、次の勤務地は群馬県前橋である。郷里にも近いところをと上司が配慮してくれたらしい。ここで、今までは運転は嫌いと言って車は持たなかったが、スキー等で遠出するのに車が無いと不便でどうしようもない。止むを得ず中古車を購入し渋々運転して、家族とスキー場通いとなる。

群馬県内はもとより、新潟県や長野県内のスキー場にも車を飛ばした。

良く通ったスキー場の1つに、新潟県苗場スキー場がある。同スキー場には

小樽で知り合った札幌五輪選手のKプロが居て、スキー学校やレストラン、ロッジなどを経営している。当時はレストランなどでよく食事をしたが、この頃はご無沙汰していて、年賀状交換だけになっている。

その後東京本店に転勤し、以来転勤を4回したが、家族を東京に残しての

単身赴任と成り、本店～支店を往復する単身赴任勤務が退職まで続いた。

単身赴任最初の勤務地、島根県松江では、広島時代にも行った鳥取県大山スキー場によく通った。西日本ではスケールが1番大きく、自前の厚生施設保養所もあったので、泊りがけでも良く行ったものである。

2年半勤務のあと東京本店に戻りその後は再び北海道札幌勤務となった。

北海道は一度小樽に勤務していることもあって、北海道の2度泣き（東京から行くときは、行きたくないと言って泣き、行くとき住めば都で、帰京の際は帰りたいくないと言って泣く）には遭わず、何とかそれなりに対応出来たと思っている。

札幌はまさにスキー天国で、在札中は年間平均20日間くらいは滑ったであろうか。札幌では、主に札幌国際や手稲等の近郊スキー場を中心に滑ったが、小樽時代に行ったことのないスキー場にも足を運ぶようにした。

キロロ、トナム、サホロ、カムイリンクスなどの各スキー場にも、職場や、札チヨン仲間と連れ立って行き、札チヨンスキーライフを謳歌した。

札幌では、札チヨン仲間数人とワシントンポスト紙東京支局長から単身赴任生活を取材され、サプライズで単身赴任生活者の居宅を見たいということで渋々拙宅を案内すると、玄関先のスキーを見つけ、週末にニセコにスキーに行くが一緒にと誘われ同行した。

なかなかの腕前で昼はスキー、夜はウイスキー（こちらもなかなかで小生以上?の腕前）談義で、国際親善にも貢献したかと愚考している。

2年半の札幌生活後、一旦は東京本店に戻り、その後四国の高知支店に勤務したが、その際は流石スキーは持参しなかった。高知県にもスキー場が2箇所?あるようだが・・・。

最後の支店は富山である。富山も近郊の北アルプス山麓に広がる中規模のスキー場が散在している。雪質はややイマイチながら雄大な北アルプスを背に、眼下に広がる富山湾を眺望出来るらいちょうバレースキー場のロケーションはなかなかのものである。利賀スキー場も県内一の標高を誇り、雪質もまずまずで人気の高いスキー場である。春スキーのメッカ、室堂平スキー場は、雪の大谷立山道路が開通する春からがシーズンインの地方色豊かなスキー場である。運が良ければ天然記念物の「雷鳥」との出会いにも恵まれる。

これらのスキー場に数回足を運び、楽しんで滑ったところである。

8年前にリタイヤし、以来小平マスターズスキークラブでお世話になり、白馬八方、志賀高原、尾瀬岩鞍、石内丸山等を中心に同年代の元ヤング?スキー仲間と和気藹々、昼はスキー夜はウイスキーで楽しく滑り、語らい現在に至っている。

このたび、縁あって小平市スキー連盟50周年の節目の年に、同連盟の理事を拝命したが、これも好きなスキーのご縁と思い、微力ながらお役立ち出来るよう尽瘁に努めたいと愚考している。

末筆ながら小平市スキー連盟ますますのご発展をご祈念申し上げ、拙稿を擱筆します。

# 「スキーと共に」

## スキー三昧

アルペンスキークラブ 河野正清

昨年（2011年）の年末、12月22日から1月4日まで14日間、スキー合宿に行ってきました。診療所？、もちろん休診にして閉めてしまいました。2003年頃までは年末・年始は普通の人と同じように5日～8日間位お休みしてスキーするのが通例でしたが、どうしても長期間スキー合宿に参加したくて、2004年の正月から2週間お休みにしてしまいました。2週間も休診にしたら患者が困るだろう!!。きっと苦情の嵐で謝り続けられないといけなくなるのでは？、と心配して



いたのですが、フタを開けると苦情らしきものは全く無く、こちらがびっくりする程の理解を示して頂きました。勿論経済的問題は発生しますが、なんとかやりくりして倒産しない程度には凌ぐことが出来ました。普通に、常識的に考えれば年末に2週間も休むなんて、とうてい無理!!どう考えても無理!!そんなの夢物語!!、と私自身も以前は考えていました。よく『夢はあきらめないで努力すれば必ず実現するものだ』なんて言いますが、この程度の夢であれば本人がその気にさえなれば実現出来るものなんだな～、と自分自身感心してしまいました。

さて、スキー合宿の話ですが、全国大会出場を目指している東京近郊の中学生・高校生を集めたレーシング合宿が毎年北海道・北見スキー場にて12月20日頃より1月初旬まで行われています。だいたい15名前後の選手が参加しています。息子が高校スキー部で3年間連続してインターハイ・国体に出場していた関係で、そんな合宿とコーチに知り合って、特別に?50歳過ぎの私も参加させてもらっています。朝はまず7時から9時までナイター照明をつけて貸し切りで高速系の練習。朝食後は午前、午後、ナイターとその日によってスケジュールが決まっています、約6時間くらいはトレーニング出来ます。トータルで8時間くらいトレーニングできるので、通常の2日分のトレーニングとなります。トレーニングの合間に昼食、夕食を食べたり、スキーの手入れやビデオによる自分の滑りのチェック、あるいは体力温存の為に昼寝したり、いやいや結構忙しくて1日があっという間です。こんな1日の生活を中学生・高校生と一緒にやって、一緒にメニューをこなしていました。勿論目一杯がんばり過ぎるとまた怪我するかもしれないので、体と相談しながら手を抜いてはいましたが……。テレビや新聞での最近の中学生・高校生はちょっとやばい感じですが、合宿に来ている中学生・高校生は全くそんなことなく、礼儀正しくて素直で優しくて一生懸命です。毎日毎日同じ生活リズムの繰り返しなので、4～5日ならば大丈夫なのですが1週間以上経つと、今日が何日で何曜日なのか?、考えても判らなくなっていました。いや～こんなの30年ぶりくらいでした。14日間も滑りっぱなしで嫌にならないか?、とんでもない!!、毎日楽しくて楽しくて1日があっという間です。いつも14日間も滑れば随分と上達するのでは?と期待するのですが、びっくりする程の上達は出来ずちょっとがっかりする反面、ある程度の基礎的な技術レベルの向上は自分自身で実感出来るので、満足もしています。

とにかくとても充実した14日間で、また今年の年末から来年正月にかけて2週間スキー合宿に参加するのが、もう今から楽しみで楽しみでしょうがありません。こういうのを正真正銘の『スキー馬鹿』とでも言うのでしょうかね……。

## 私とスキー

ルネサスエレクトロニクススキー部 齊藤 博



私は、昔から寒いのが嫌いでしたので、一生スキーに関わることはないと思っていました。しかし、こんな私が、スキーにはまってしまったのは、当時私の上司（当時会社のスキー部の部長）からスキーを教わりたいという職場の仲間からの要望で、私が幹事でスキー旅行に行くことになりました。

そのスキー旅行での出来事です。うまく滑れず転んでいる私を見て、職場の先輩の一人が、『お前のスキー、かわいそうだな！』と言うのです。私は、『どういう意味ですか？』と尋ねると『お前が転ぶから、そのスキーは、滑りたいのに滑れないからだよ』と言われました。私は、その時の一言が悔しくて、絶対にその人よりうまくなってやると心に決めたことがきっかけでした。

そして、私は、その年に、会社のスキー部に入部し、スキー技術の向上に励むと共にスキーが楽しいスポーツであることを知りました。また、スキー部に入部したことで、普段会社生活では関わることのない職場の方々との付き合いも始まりました。それから、4年後に、2級、更に3年後に、1級に合格したこともあって、SAKの上級者研修会やジュニアスキースクール（お手伝いとして）に参加したことにより、馬場名誉会長を始め、いろいろなクラブの方々とも知り合いになることができました。

更に、小学校の同窓会では、私の趣味がスキーであることがきっかけで、担任の先生ご夫婦と毎年スキーに行くようにもなりました。

今となっては、私にとってスキーは、単なる趣味ではなく、いろいろな方との出会いをもたらしてくれるものになりました。

そして、今までの経験から、スキーは、老若男女問わず、誰でもが一緒に楽しめるスポーツであることを知りました。私は、スキーというスポーツに感謝しながら、今後も、更なる出会いと、更なるスキー技術の向上を目指して、一生涯スキーを続けたいと思っています。

## 1級をめざしていた頃

小平マスターズスキークラブ 茂野本史



1級に合格したのは平成8年（1996年）のことだから、もう16年も前の事になる。40歳代の後半から50歳代にかけてが、一番スキーにのめりこんだ時期であった。丁度その頃勤務していた都立武蔵野北高校には、小規模校にもかかわらずスキー好きの職員が沢山いて、その中心になっていたのが体育科のI先生だった。上半身がシュワルツネッガー並みに鍛え上げられた見事な逆三角形だったので鉄人Iと呼ばれていたが、彼を中心に行われた赤倉でのスキー教室は指導が徹底しており実に充実したスキー教室だった。今でも昔の仲間

が集まると必ず話題に上る、語り草となったスキー教室だった。スキー教室の前には引率する職員を中心に事前の講習会があり、私はここで随分と鍛えられた。そのころ同僚とよく出掛けたのは、北海道では富良野、上越では神立と赤倉だった。滑走日数はシーズン2週間前後だから、決して多いというわけではなかったが、ただ一日に滑る距離がめちゃくちゃ長いのである。視界不良や急斜面では小回りだが、あとは大体中回り、大回りでひたすら素っ飛ばす。富良野では最上部のダウンヒルの圧雪していない地点からスピースまたはザイラーコースをゴンドラ乗り場まで、タイムを競い合ったものだった。また、赤倉では前山トリプルやチャンピオンBコースをよく滑った。自分の乗った搬器の数字を覚えていて、常にその数字を少しでも短縮しようと滑った。その頃は、素っ飛ばして滑ることが面白くて、面白くて、同僚が追い付いても休憩も入れずに直ぐスタートして、呼吸も整わないうちに搬器に飛び乗るのである。搬器から仲間が滑っているのが見える。たまに同行した家内から自分一人で来ている訳でないでしょ、とよく叱られた。“分かつちやいるけどやめられない”のである。スキー場にもよるが、一日に搬器を利用した回数が多い時には30回を超えることもあった。リフト券の有効利用率では、そのスキー場では多分トップだったろう。今にして思うと、このすっ飛ばしの繰り返し練習のお蔭でスピードや斜面に対する恐怖感はかなり克服出来たし、バランス感も養われたと思っている。整地されているところだけでなく、ティネの北カベ、蔵王の横倉のカベなどにも挑戦した。横倉のカベは青氷でほとんど垂直だが、谷に身を躍らせる気持ちで滑ったら、なんとか転倒もせずに滑り終えたのである。一級には3回目でやっと合格したが、このすっ飛ばし練習が功を奏したのか、総合滑走が高得点で、ウエーデルン（現在はショート・ターン）の低得点を補ってくれたのであった。どんな雪面状況でも確実に板が操作できる事、という1級取得者に要求される技能を名実共に身につけたいと、合格してから今日まで頑張ってきたつもりではあるが、残念ながら実現出来ていない。コブ斜面になると、まるで駄目である。コブ斜面での練習量自体が極めて乏しかったという面はあるにしても、滑走技術の基本はショート・ターンにあるのではということが、今頃になってやっと分かって来た。結局ショート・ターン技術がしつかりと自分のものになっていないからコブ斜面がうまくいかないのである。左右均等な弧を長く連続して描けるようになるのが、近年の課題である。

昨シーズンは有志でかぐら・みつまたに2回行き、オフ・ピステでの練習がかなり出来た。スキーは楽しい。同時にまた、奥が深く、難しい。怪しげで危うい1級ではなく、真の実力を持つ1級に少しでも近づけるよう今シーズンも仲間と大いに滑ろうと思っている。

# 「スキーと共に」

## 家族スキーから都民大会まで、スキーライフ満喫！

スプリントスキークラブ 漆田智子

SAK 創立 50 周年おめでとうございます。半世紀という長きにわたり、小平市においてスキー活動にたずさわっていらした連盟関係者の皆様へ感謝と敬意の思いが絶えません。また、記念の節目に、SAK 会員として関わっていることを大変うれしく思います。

現在、漆田家には SAK 会員が私を含め 4 名おります。マスターズ所属の両親とスプリント所属の姉妹です。もともと、両親がスキーをしていたことから、こどもたちはそれに付き合わされるという形でスキーを始めました。

SAK の行事に初参加をしたのは小学生のとき、40 年近く前のお正月の市民ファミリースキースクールで菅平に行ったときです。若かりし日の馬場名誉会長や小川会長にスキーの最初と楽しさを教わりました。バッチテストも小学生で 4 級から大学生で 1 級を取るまで全て SAK でお世話になりました。



社会人になり、自分の趣味としてスキーを行い、スプリントに入会して以来、20 数年飽きることなく、冬の声が聞こえだすとわくわくし、降雪のニュースに一喜一憂し、1 年の半年近くをスキー場に足を運ぶ生活が続いています。

スキーで 1 級を取ってしまうと、指導員を目指さない場合、その先の明確な目標が定まらなくなってしまう、一時はスキーはもういいかな、と思う時期もありました。ところが、ここ数年、コブやポールにすっかり魅了されてしまい、今さらながら、コブキャンプやレースキャンプに行ってみたり、大会に出てみたり、時間がたりません（笑）。以前はまったく興味のなかったコブやポールですが、食わず嫌いだったようです。

しかも、昨年度は調子によって都民大会に出させていただきました。市民大会以外に SL の大会にはまったく参加したことがなかったのですが、菅平の裏太郎にコースが設けられ、電光掲示板に自分のビブナンバーとタイムが表示される感激は忘れることができません。来シーズンも練習に行ってお年も出られるようにがんばろう！という思いがふつふつと湧いてきました。

また、大会には女性シニアレーサーがワンピースを着て、果敢にポールにアタックし、速い成績を残している姿に「まだまだ、何でもやれるわよ！」とお姉さま方の背中が雄弁に語っているようで、大変刺激を受けました。

そう、スキーはいくつになっても「まだまだ」楽しめるスポーツですね。そして、二度と同じ状況が無いという、自然の恵みの中で楽しむスポーツでもあります。これからも SAK とスプリントの仲間たちと一緒にスキーライフを満喫していきたいと思ひます。

# 「スキーと共に」

## 菅平音頭の思い出、そしてこれから

エクセレントスキークラブ 黒田和雄

小平市スキー連盟創立50周年誠にありがとうございます。

私のスキーの歴史（偉そう！）は、小平市スキー連盟とあの「滑ろ～、滑ろ～よ、菅平」の菅平音頭が、すべてであったといっても、過言ではありません。それだけ、スキーと言ったら、菅平というように、菅平高原は、自分の第二の故郷みたいに、いきまくっていました。当時は、特に「菅平のアイスバーンを制したものは、どこでも滑れる」といわれるぐらいにその道を目指す「基礎スキーヤー」たちは、こぞって、菅平に行ったものです。また、当時は、



バブル景気もかさなり、世間は、空前のスキーブーム！「私をスキーに連れて行って」なんてベタなタイトルの映画もその追い風になり、「ユーミン」のサーフ&スノーなんて歌も大流行し、とても、幸せな時代でした。そう、私たちの時代は、今では、考えられないくらい、ある意味「楽しく」、そして、そこに20代という若い年齢がかさなった頃でした。

しかし、その後、バブルが崩壊し、世の中が不景気になっていき、さらに、少子高齢化がすすみ、スキーというある意味贅沢な「遊び」にあまり、人々が、目を向けなくなり、スキー離れがおこりました。これから、われわれ、スキーの指導員の役割は、何なのか？今後、どのように活動をしていけばいいのか、スキーの普及、発展をしていくために、何をしていったらいいのか、われわれ小平市スキー連盟の責任は、非常に大きなものであると感じています。私も、連盟の会員のひとりとして、できる限り、活動をしていきたいと、この50周年を迎え、微力ながら、気持ちを新たに、皆さんと頑張っていきたいと思います。

# 各種大会の記録

(以下の各種大会の記録は、現在、記録が残っている大会のみの記載です)

## 第41回市民大会 於 水上高原スキー場 平成16年1月24日(土) 回転競技

### 小学低学年の部

順位	クラブ	氏名
1	エクセレント	太田 実樹
2	エクセレント	鈴木 達朗
3	日立国際	室田 杏縫

### 小学高学年の部

順位	クラブ	氏名
1	エクセレント	鈴木 一敏
2	エクセレント	太田 直樹
3	エクセレント	紀 真耶
4	エクセレント	都築 遼
5	一般	山田 史弥

### 中学女子の部

順位	クラブ	氏名
1	エクセレント	桶田 祐名
2	エクセレント	佐藤 由良

### 女子3部

順位	クラブ	氏名
1	一般	山田 弘美

### 女子2部

順位	クラブ	氏名
1	ルネサス	渡辺 恵美子

### 女子1部

順位	クラブ	氏名
1	スプリント	鳥羽 良子
2	エクセレント	坂本 玲子

### 男子4部

順位	クラブ	氏名
1	一般	村山 真三

### 男子3部(4名)

順位	クラブ	氏名
1	エクセレント	鈴木 一朗
2	エクセレント	河野 正清

### 男子2部(9名)

順位	クラブ	氏名
1	ルネサス	渡辺 章
2	日立国際	八重樫 一仁
3	日立国際	永井 龍太郎

### 男子1部(9名)

順位	クラブ	氏名
1	KRT	門司 直樹
2	エクセレント	岸本 卓也
3	日立国際	松隈 規真

## 平成16年1月25日(日) 大回転競技

### 小学低学年の部

順位	クラブ	氏名
1	エクセレント	鈴木 達朗
2	エクセレント	都築 理沙
3	エクセレント	馬場 健哉

### 小学高学年の部

順位	クラブ	氏名
1	エクセレント	太田 直樹
2	エクセレント	鈴木 一敏
3	エクセレント	紀 真耶
4	エクセレント	藤井 祐貴
5	エクセレント	都築 遼

### 中学生女子

順位	クラブ	氏名
1	エクセレント	桶田 祐名
2	エクセレント	佐藤 由良

### 中学生男子

順位	クラブ	氏名
1	エクセレント	紀 晃太
2	エクセレント	太田 和樹

### 女子2部

順位	クラブ	氏名
1	ルネサス	渡辺 恵美子

### 女子1部

順位	クラブ	氏名
1	エクセレント	押切 彩香
2	スプリント	鳥羽 良子
3	エクセレント	坂本 玲子

### 男子5部

順位	クラブ	氏名
1	KRT	丹羽 一夫
2	KRT	墨田 信昭

### 男子4部

順位	クラブ	氏名
1	一般	村山 真三
2	エクセレント	岸本 康己

### 男子3部

順位	クラブ	氏名
1	エクセレント	河野 正清
2	エクセレント	鈴木 一朗
3	一般	須賀 英典

### 男子2部

順位	クラブ	氏名
1	日立国際	永井 龍太郎
2	日立国際	八重樫 一仁
3	ルネサス	渡辺 章

### 男子1部

順位	クラブ	氏名
1	エクセレント	岸本 卓也
2	一般	小町 元彦
3	日立国際	伊藤 哲也

第42回市民大会 於 夜間瀬スキー場

平成17年1月29日(土)回転競技

小学低学年の部

順位	クラブ	氏名
1	一般	野澤 和正
2	エクセレント	川出 亜李紗

小学高学年の部

順位	クラブ	氏名
1	日立国際	室田 杏縫

女子3部

順位	クラブ	氏名
1	ルネサス	渡辺 恵美子

女子2部

順位	クラブ	氏名
1	エクセレント	菅原 香織
2	エクセレント	佐藤 慶子
3	KRT	高橋 裕子

女子1部

順位	クラブ	氏名
1	エクセレント	小池 明子
2	日立国際	白川 順子
3	エクセレント	坂本 玲子

男子5部

順位	クラブ	氏名
1	KRT	丹羽 一夫
2	一般	風間 七郎
3	KRT	墨田 信昭

男子4部

順位	クラブ	氏名
1	日立国際	竹内 常雄
2	エクセレント	岸本 康己

男子3部

順位	クラブ	氏名
1	エクセレント	河野 正清
2	エクセレント	鈴木 一朗
3	エクセレント	酒井 晃

男子2部

順位	クラブ	氏名
1	スプリント	稲葉 秀司
2	日立国際	八重樫 一仁
3	ルネサス	渡辺 章

男子1部

順位	クラブ	氏名
1	KRT	門司 直樹
2	KRT	山本 拓麿
3	KRT	澤 但

平成17年1月30日(日)大回転競技

小学低学年の部

順位	クラブ	氏名
1	一般	野澤 早希
2	エクセレント	馬場 健哉
3	ルネサス	庄野 耕平

小学高学年の部

順位	クラブ	氏名
1	一般	鍛冶田 雄輝
2	日立国際	室田 杏縫

中学生女子の部

順位	クラブ	氏名
1	エクセレント	上田 麻衣

中学生男子の部

順位	クラブ	氏名
1	エクセレント	八木 健介
2	エクセレント	馬場 裕幸

女子3部

順位	クラブ	氏名
1	ルネサス	渡辺 恵美子

女子2部

順位	クラブ	氏名
1	エクセレント	菅原 香織
2	KRT	高橋 裕子

女子1部

順位	クラブ	氏名
1	エクセレント	押切 彩香
2	日立国際	白川 順子
3	エクセレント	小池 明子

男子5部

順位	クラブ	氏名
1	KRT	丹羽 一夫
2	一般	吉本 道義
3	KRT	墨田 信昭

男子4部

順位	クラブ	氏名
1	日立国際	竹内 常雄
2	エクセレント	岸本 康己
3	マスターズ	相澤 啓一

男子3部

順位	クラブ	氏名
1	エクセレント	馬場 智司
2	日立国際	室田 敏雄
3	エクセレント	酒井 晃

男子2部

順位	クラブ	氏名
1	日立国際	八重樫 一仁
2	ルネサス	渡辺 章
3	日立国際	永井 龍太郎

男子1部

順位	クラブ	氏名
1	KRT	山本 拓麿
2	KRT	門司 直樹
3	エクセレント	岸本 卓也

第43回市民大会 於 夜間瀬スキー場

平成18年1月28日(土) 回転競技

小学低学年の部

順位	クラブ	氏名
1	一般	野澤 和正
2	エクセレント	山本 雄大
3	一般	川越 みのり
4	一般	福原 寛典

小学高学年の部

順位	クラブ	氏名
1	一般	野澤 早希
2	一般	川越 孝裕
3	エクセレント	鈴木 達朗
4	エクセレント	浦川 さつき
5	一般	福原 雅利

中学生の部

順位	クラブ	氏名
1	エクセレント	紀 晃太
2	エクセレント	浦川 佑介
3	エクセレント	鈴木 一敏

女子3部

順位	クラブ	氏名
1	ルネサス	渡辺 恵美子

女子2部

順位	クラブ	氏名
1	ルネサス	菅原 香織
2	スプリント	漆田 智子
3	エクセレント	浦川 恵子

女子1部

順位	クラブ	氏名
1	日立国際	白川 順子
2	エクセレント	坂本 玲子

男子5部

順位	クラブ	氏名
1	KRT	丹羽 一夫
2	KRT	墨田 信昭

男子4部

順位	クラブ	氏名
1	エクセレント	岸本 康己
2	日立国際	竹内 常雄

男子3部

順位	クラブ	氏名
1	エクセレント	河野 正清
2	日立国際	永井 龍太郎
3	エクセレント	鈴木 一朗

男子2部

順位	クラブ	氏名
1	日立国際	八重樫 一仁
2	ルネサス	渡辺 章
3	エクセレント	今野 敬行

男子1部

順位	クラブ	氏名
1	エクセレント	岸本 卓也
2	KRT	澤 但
3	一般	小松 秀暢

平成18年1月29日(日) 大回転競技

小学低学年の部

順位	クラブ	氏名
1	一般	野澤 和正
2	エクセレント	馬場 健哉
3	エクセレント	山本 雄大
4	一般	福原 寛典

小学高学年の部

順位	クラブ	氏名
1	一般	野澤 早希
2	エクセレント	鈴木 達朗
3	エクセレント	浦川 さつき
4	一般	福原 雅利
5	ルネサス	庄野 耕平

中学生男子の部

順位	クラブ	氏名
1	エクセレント	紀 晃太
2	エクセレント	浦川 佑介
3	エクセレント	鈴木 一敏

女子3部

順位	クラブ	氏名
1	ルネサス	渡辺 恵美子

女子2部

順位	クラブ	氏名
1	ルネサス	菅原 香織
2	スプリント	漆田 智子
3	エクセレント	浦川 恵子

女子1部

順位	クラブ	氏名
1	日立国際	白川 順子
2	エクセレント	坂本 玲子

男子5部

順位	クラブ	氏名
1	KRT	丹羽 一夫
2	KRT	墨田 信昭

男子4部

順位	クラブ	氏名
1	エクセレント	岸本 康己

男子3部

順位	クラブ	氏名
1	エクセレント	河野 正清
2	日立国際	永井 龍太郎
3	エクセレント	馬場 智司

男子2部

順位	クラブ	氏名
1	日立国際	八重樫 一仁
2	ルネサス	渡辺 章
3	日立国際	永山 昌徳

男子1部

順位	クラブ	氏名
1	エクセレント	岸本 卓也
2	エクセレント	馬場 雅哉
3	KRT	澤 但

第44回市民大会 於 夜間瀬スキー場

平成19年1月27日(土)回転競技

小学高学年の部

順位	クラブ	氏名
1	エクセレント	鈴木 達朗
2	エクセレント	馬場 健哉
3	一般	沢辺 若葉

中学生男子の部

順位	クラブ	氏名
1	一般	川越 孝裕

女子5部

順位	クラブ	氏名
1	マスターズ	漆田 美代子

女子2部

順位	クラブ	氏名
1	スプリント	漆田 智子
2	日立国際	白川 順子

女子1部

順位	クラブ	氏名
1	一般	饗庭 理沙
2	KRT	内藤 有紀

男子5部

順位	クラブ	氏名
1	マスターズ	村山 真三
2	KRT	丹羽 一夫
3	KRT	墨田 信昭

男子4部

順位	クラブ	氏名
1	エクセレント	岸本 康己

男子3部

順位	クラブ	氏名
1	エクセレント	河野 正清
2	日立国際	永井 龍太郎
3	エクセレント	鈴木 一朗

男子2部

順位	クラブ	氏名
1	日立国際	八重樫 一仁
2	日立国際	永山 昌徳
3	スプリント	武田 光仁

男子1部

順位	クラブ	氏名
1	一般	小松 秀暢

平成19年1月28日(日)大回転競技

小学高学年の部

順位	クラブ	氏名
1	エクセレント	鈴木 達朗
2	エクセレント	馬場 健哉
3	エクセレント	須藤 悠介
4	一般	沢辺 若葉

中学生男子の部

順位	クラブ	氏名
1	エクセレント	鈴木 一敏
2	エクセレント	原島 七徳

女子5部

順位	クラブ	氏名
1	マスターズ	漆田 美代子

女子2部

順位	クラブ	氏名
1	スプリント	漆田 智子
2	日立国際	白川 順子

女子1部

順位	クラブ	氏名
1	一般	饗庭 理沙
2	KRT	内藤 有紀

男子5部

順位	クラブ	氏名
1	マスターズ	村山 真三
2	KRT	丹羽 一夫
3	KRT	墨田 信昭

男子4部

順位	クラブ	氏名
1	エクセレント	岸本 康己

男子3部

順位	クラブ	氏名
1	日立国際	永井 龍太郎
2	エクセレント	河野 正清
3	スプリント	湯澤 順一

男子2部

順位	クラブ	氏名
1	日立国際	八重樫 一仁
2	一般	小町 元彦
3	スプリント	市村 具也

男子1部

順位	クラブ	氏名
1	エクセレント	馬場 裕幸
2	一般	小松 秀暢
3	エクセレント	目黒 恵太

第45回市民大会 於 夜間瀬スキー場

平成20年1月26日(土)回転競技

小学低学年の部

順位	クラブ	氏名
1	スプリント	大久保岳斗

小学高学年の部

順位	クラブ	氏名
1	エクセレント	鈴木達朗
2	エクセレント	佐藤 柊
3	エクセレント	須藤 悠介

中学生男子の部

順位	クラブ	氏名
1	エクセレント	鈴木 一 敏

女子2部

順位	クラブ	氏名
1	スプリント	漆田 智子
2	日立国際	白川 順子

男子5部

順位	クラブ	氏名
1	KRT	墨田 信昭

男子3部

順位	クラブ	氏名
1	一般	児玉 雅彦
2	エクセレント	鈴木 一 朗
3	日立国際	永井 龍太郎

男子2部

順位	クラブ	氏名
1	一般	小町 元彦
2	スプリント	市村 具也
3	一般	小松 秀暢

男子1部

順位	クラブ	氏名
1	エクセレント	河野 秀彰
2	エクセレント	馬場 裕幸
3	エクセレント	原島 七徳

平成20年1月27日(日)大回転競技

小学低学年の部

順位	クラブ	氏名
1	スプリント	大久保岳斗

小学高学年の部

順位	クラブ	氏名
1	エクセレント	鈴木 達朗
2	エクセレント	佐藤 柊
3	エクセレント	須藤 悠介

中学生男子の部

順位	クラブ	氏名
1	エクセレント	鈴木 一 敏

女子2部

順位	クラブ	氏名
1	スプリント	漆田 智子
2	日立国際	白川 順子

男子3部

順位	クラブ	氏名
1	日立国際	永井 龍太郎
2	一般	児玉 雅彦
3	エクセレント	河野 正清

男子2部

順位	クラブ	氏名
1	日立国際	八重樫 一仁
2	日立国際	永山 昌徳
3	一般	小町 元彦

男子1部

順位	クラブ	氏名
1	エクセレント	馬場 裕幸
2	エクセレント	原島 七徳

第46回市民大会 於 菅平高原スキー場カモシカコース

平成21年1月17日(土)回転競技

小学低学年の部

順位	クラブ	氏名
1	スプリント	大久保 梓

小学高学年の部

順位	クラブ	氏名
1	エクセレント	大島 主基
2	スプリント	大久保 岳斗

女子2部

順位	クラブ	氏名
1	日立国際	白川 順子

女子1部

順位	クラブ	氏名
1	エクセレント	紀 まや

男子4部

順位	クラブ	氏名
1	日立国際	竹内 常雄

男子3部

順位	クラブ	氏名
1	エクセレント	鈴木 一朗
2	エクセレント	馬場 智司
3	日立国際	永井 龍太郎

男子2部

順位	クラブ	氏名
1	日立国際	松隈 規真
2	ルネサス	池田 雄介
3	エクセレント	今野 敬行

男子1部

順位	クラブ	氏名
1	エクセレント	紀 晃太
2	エクセレント	原島 七徳

平成21年1月18日(日)大回転競技

小学低学年の部

順位	クラブ	氏名
1	スプリント	大久保 梓
2	ルネサス	菅原 琴音
3	ルネサス	庄野 峻平

小学高学年の部

順位	クラブ	氏名
1	エクセレント	馬場 健哉
2	エクセレント	佐藤 柊
3	エクセレント	大島 主基

中学生男子の部

順位	クラブ	氏名
1	エクセレント	大島 瑞基
2	ルネサス	庄野 耕平

女子3部

順位	クラブ	氏名
1	ルネサス	菅原 香織
2	ルネサス	渡辺 恵美子

女子2部

順位	クラブ	氏名
1	エクセレント	佐藤 慶子
2	日立国際	白川 順子

女子1部

順位	クラブ	氏名
1	KRT	渡邊 美久

男子4部

順位	クラブ	氏名
1	日立国際	竹内 常雄
2	一般	水野 務
3	スプリント	千葉 正胤

男子3部

順位	クラブ	氏名
1	スプリント	市村 具也
2	エクセレント	河野 正清
3	日立国際	永井 龍太郎

男子2部

順位	クラブ	氏名
1	エクセレント	今野 敬行
2	ルネサス	菅原 雅文
3	日立国際	松隈 規真

男子1部

順位	クラブ	氏名
1	エクセレント	鈴木 一敏
2	エクセレント	原島 七徳
3	エクセレント	喜名 眞魚

第47回市民大会 於 菅平高原スキー場天狗コース

平成22年1月17日(日)回転競技

小学低学年の部

順位	クラブ	氏名
1	一般	佐藤 司知
2	スプリント	大久保 梓
3	エクセレント	川嶋 健介

小学高学年の部

順位	クラブ	氏名
1	エクセレント	大島 主基
2	スプリント	大久保 岳斗

中学女子の部

順位	クラブ	氏名
1	一般	野澤 早希

中学男子の部

順位	クラブ	氏名
1	エクセレント	大島 瑞貴
2	エクセレント	馬場 健哉
3	エクセレント	長井 勇樹

女子4部

順位	クラブ	氏名
1	スプリント	大久保 庸子

女子3部

順位	クラブ	氏名
1	スプリント	市村 信子
2	スプリント	漆田 玲子

女子2部

順位	クラブ	氏名
1	日立国際	白川 順子

男子5部

順位	クラブ	氏名
1	日立国際	竹内 常雄

男子4部

順位	クラブ	氏名
1	エクセレント	河野 正清

男子3部

順位	クラブ	氏名
1	日立国際	永井 龍太郎
2	エクセレント	馬場 智司
3	スプリント	市村 具也

男子2部

順位	クラブ	氏名
1	エクセレント	川嶋 剛
2	ルネサス	池田 雄介

男子1部

順位	クラブ	氏名
1	エクセレント	志和 昇平
2	エクセレント	馬場 雅哉
3	一般	鈴木 一敏

平成22年1月16日(土)大回転競技

小学低学年の部

順位	クラブ	氏名
1	一般	佐藤 司知
2	スプリント	大久保 梓

小学高学年の部

順位	クラブ	氏名
1	エクセレント	佐藤 柊
2	スプリント	大久保 岳斗

女子4部

順位	クラブ	氏名
1	スプリント	大久保 庸子

女子3部

順位	クラブ	氏名
1	スプリント	漆田 智子
2	スプリント	市村 信子
3	スプリント	漆田 玲子

女子2部

順位	クラブ	氏名
1	エクセレント	佐藤 慶子
2	日立国際	白川 順子

男子7部

順位	クラブ	氏名
1	マスターズ	村山 真三
2	マスターズ	斎藤 武久

男子6部

順位	クラブ	氏名
1	スプリント	千葉 正胤

男子5部

順位	クラブ	氏名
1	日立国際	竹内 常雄

男子3部

順位	クラブ	氏名
1	日立国際	永井 龍太郎
2	スプリント	市村 具也
3	エクセレント	馬場 智司

男子2部

順位	クラブ	氏名
1	一般	高橋 徹
2	一般	小町 元彦
3	日立国際	永山 昌徳

男子1部

順位	クラブ	氏名
1	エクセレント	喜名 真魚
2	エクセレント	原島 七徳

第48回市民大会 於 菅平高原スキー場天狗コース

平成23年1月16日(日)回転競技

小学低学年の部

順位	クラブ	氏名
1	アルペン	川嶋 健介

小学高学年の部

順位	クラブ	氏名
1	一般	佐藤 司知
2	スプリント	大久保 岳斗
3	スプリント	大久保 梓

中学女子の部

順位	クラブ	氏名
1	一般	野澤 早希

中学男子の部

順位	クラブ	氏名
1	エクセレント	馬場 健哉
2	一般	小野 瑞貴
3	エクセレント	松永 清吾

女子3部

順位	クラブ	氏名
1	スプリント	漆田 玲子

男子7部

順位	クラブ	氏名
1	一般	村山 真三

男子6部

順位	クラブ	氏名
1	スプリント	千葉 正胤

男子5部

順位	クラブ	氏名
1	日立国際	竹内 常雄

男子4部

順位	クラブ	氏名
1	アルペン	河野 正清

男子3部

順位	クラブ	氏名
1	日立国際	永井 龍太郎
2	アルペン	鈴木 一朗
3	エクセレント	馬場 智司

男子2部

順位	クラブ	氏名
1	アルペン	川嶋 剛
2	ルネサス	池田 雄介
3	日立国際	永山 昌徳

男子1部

順位	クラブ	氏名
1	エクセレント	馬場 雅哉
2	エクセレント	松永 幹生
3	エクセレント	前田 健一郎

平成23年1月15日(土)大回転競技

小学低学年の部

順位	クラブ	氏名
1	一般	沢辺 疾風

小学高学年の部

順位	クラブ	氏名
1	一般	中川 碧恵
2	一般	佐藤 司知
3	スプリント	大久保 岳斗
4	スプリント	大久保 梓

女子3部

順位	クラブ	氏名
1	エクセレント	佐藤 慶子
2	スプリント	漆田 玲子

男子7部

順位	クラブ	氏名
1	マスターズ	村山 真三

男子6部

順位	クラブ	氏名
1	スプリント	千葉 正胤

男子5部

順位	クラブ	氏名
1	日立国際	竹内 常雄

男子3部

順位	クラブ	氏名
1	日立国際	永井 龍太郎
2	スプリント	市村 具也
3	スプリント	服部 和哉

男子2部

順位	クラブ	氏名
1	日立国際	小山 昌徳
2	一般	中川 芳近
3	スプリント	廣島 敬

男子1部

順位	クラブ	氏名
1	エクセレント	志和 昇平
2	一般	本多 夏雄

第49回市民大会 於 菅平高原スキー場天狗コース

平成24年1月29日(土) 回転競技

小学低学年の部

順位	クラブ	氏名
1	一般	沢 辺 疾 風
2	Jrプロジェクト	田 村 葉

小学高学年の部

順位	クラブ	氏名
1	一般	佐 藤 司 知
2	Jrプロジェクト	大 久 保 梓
3	アルペン	川 嶋 健 介
4	Jrプロジェクト	高 橋 裕 美

中学生女子

順位	クラブ	氏名
1	Jrプロジェクト	高 橋 美 香

中学生男子

順位	クラブ	氏名
1	Jrプロジェクト	大 久 保 岳 斗

女子5部

順位	クラブ	氏名
1	ルネサス	渡 辺 恵 美 子

女子4部

順位	クラブ	氏名
1	スプリント	漆 田 智 子

女子3部

順位	クラブ	氏名
1	日立国際	白 川 順 子

男子5部

順位	クラブ	氏名
1	日立国際	竹 内 常 雄

男子4部

順位	クラブ	氏名
1	アルペン	河 野 正 清

男子3部

順位	クラブ	氏名
1	アルペン	鈴 木 一 朗
2	日立国際	永 井 龍 太 郎
3	エクセレント	馬 場 智 司

男子2部

順位	クラブ	氏名
1	ルネサス	渡 辺 章
2	エクセレント	今 野 敬 行
3	一般	小 町 元 彦

男子1部

順位	クラブ	氏名
1	一般	本 多 夏 雄
2	エクセレント	小 出 俊
3	一般	池 田 裕

平成24年1月29日(土) 大回転競技

小学低学年の部

部内順位	所属	氏名
1	一般	沢 辺 疾 風
2	一般	佐 藤 さ つ き
3	Jrプロジェクト	田 村 葉

小学高学年の部

順位	クラブ	氏名
1	一般	佐 藤 司 知
2	Jrプロジェクト	大 久 保 梓
3	アルペン	川 嶋 健 介
4	Jrプロジェクト	高 橋 裕 美

中学生女子

順位	クラブ	氏名
1	Jrプロジェクト	高 橋 美 香

中学生男子

順位	クラブ	氏名
1	Jrプロジェクト	大 久 保 岳 斗

女子5部

順位	クラブ	氏名
1	ルネサス	渡 辺 恵 美 子

女子4部

順位	クラブ	氏名
1	スプリント	漆 田 智 子

女子3部

順位	クラブ	氏名
1	日立国際	白 川 順 子

男子5部

順位	クラブ	氏名
1	日立国際	竹 内 常 雄

男子4部

順位	クラブ	氏名
1	アルペン	河 野 正 清

男子3部

順位	クラブ	氏名
1	アルペン	鈴 木 一 朗
2	日立国際	永 井 龍 太 郎
3	一般	志 村 隆 彰

男子2部

順位	クラブ	氏名
1	スプリント	廣 嶋 敬
2	一般	小 町 元 彦
3	エクセレント	今 野 敬 行

男子1部

順位	クラブ	氏名
1	一般	本 多 夏 雄
2	エクセレント	小 出 俊
3	一般	池 田 裕

都民大会

2005年 第58回都民大会

部	氏名	クラブ	順位
男子3部	鈴木 一朗	エクセレント	35
男子2部	八重樫 一仁	日立国際	21
男子1部	小松 秀暢	一般	41
男子1部	小町 元彦	一般	32

2006年 第59回都民大会

部	氏名	クラブ	順位
男子1部	小松 秀暢	一般	51
男子2部	八重樫 一仁	日立国際	14
男子3部	河野 正清	エクセレント	21
男子3部	鈴木 一朗	エクセレント	40
女子3部	渡辺 恵美子	ルネサス	29

2007年 第60回都民大会

部	氏名	クラブ	順位
男子1部	小町 元彦	一般	32
	小松 秀暢	一般	41
男子2部	八重樫 一仁	日立国際	21
男子3部	鈴木 一朗	エクセレント	35

2008年 第61回都民大会

部	氏名	クラブ	順位
男子1部	河野 秀彰	エクセレント	1
男子2部	小町 元彦	一般	63
	市村 具也	スプリント	45
男子3部	児玉 雅彦	一般	11
	鈴木 一朗	エクセレント	18
	永井 龍太郎	日立国際	34
	河野 正清	エクセレント	38

2009年 第62回都民大会

部	氏名	クラブ	順位
男子1部	河野 秀彰	エクセレント	1
男子2部	川嶋 剛	エクセレント	66
	池田 雄介	ルネサス	71
男子3部	永井 龍太郎	日立国際	29
	馬場 智司	エクセレント	37
	河野 正清	エクセレント	54

2010年 第63回都民大会

部	氏名	クラブ	順位
男子2部	小町 元彦	一般	49
	池田 雄介	ルネサス	61
男子3部	永井 龍太郎	日立国際	14
	鈴木 一朗	アルペン	29
	馬場 智司	エクセレント	32
男子4部	河野 正清	アルペン	16
男子5部	村山 真三	マスターズ	19

2011年 第64回都民大会

部	氏名	クラブ	順位
	永山 昌徳	日立国際	58
男子3部	永井 龍太郎	日立国際	50
	鈴木 一郎	アルペン	19
	市村 具也	スプリント	47
男子4部	河野 正清	アルペン	22
	竹内 常雄	日立国際	47

2012年 第65回都民大会

部	氏名	クラブ	順位
男子2部	渡辺 章	ルネサス	24
	小町 元彦	一般	32
	永山 昌徳	日立国際	47
男子3部	鈴木 一朗	アルペン	20
	市村 具也	スプリント	49
	永井 龍太郎	日立国際	51
男子4部	河野 正清	アルペン	24
	竹内 常雄	日立国際	42
女子3部	漆田 智子	スプリント	15

小平市スキー技術選(オール東京技術選)

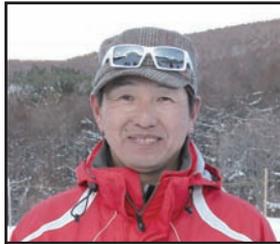
SAK技術戦	男子優勝	男子2位	男子3位	女子優勝	女子2位	女子3位
2008年度(20年)	国分 正樹	町田 雄治	大川 陽介	林 信子	五十畑 幸子	山口 奈々
2009年度(21年)	田中 覚	原 吉男	大川 陽介	林 信子	黒田 由佳	島田 亜季
2010年度(22年)	岩崎 矜	原 吉男	厚見 憲将	石渡 周子	植松 舞	岡 真由子
2011年度(23年)	東日本大震災の為に中止					
2012年度(24年)	町田 雄治	原 吉男	市川 奨一	林 信子	梶田 美彩貴	山口 真理子

小平市スキー連盟指導員（2012年8月現在）



個人登録

馬場 和男



エクセレント

馬場 智司



エクセレント

黒田 和雄



エクセレント

佐々木 秀貴



エクセレント

宮崎 まみ



エクセレント

澤渡 保男



エクセレント

酒井 晃



エクセレント

伊藤 正明



エクセレント

磯部 勝博



エクセレント

飯森 隆



エクセレント

藤沢 顕



エクセレント

辻井 博幸



エクセレント

山下 功



エクセレント

光田 圭子



エクセレント

馬場 雅哉



エクセレント

岸本卓也



エクセレント

齋木 泰範



エクセレント

齋木 典子



エクセレント

佐藤 慶子



エクセレント

田島 優子



エクセレント  
荻野 敏行



エクセレント  
志和 昇平



ルネサス  
吉田 昌弘



ルネサス  
長瀬 明



ルネサス  
若林 隆之



ルネサス  
織田 久



ルネサス  
澤田 民生



ルネサス  
灰野 潤一



ルネサス  
西方 朝雄



ルネサス  
庄野 洋一



ルネサス  
大野 隆夫



ルネサス  
渡辺 章



ルネサス  
渡辺 恵美子



ルネサス  
斎藤 高志



ルネサス  
鳥羽 功一



ルネサス  
池田 雄介



ルネサス  
小山 武志



個人登録  
白倉 克彦



個人登録  
濱本 一孝



マスターズ  
相澤 啓一



マスターズ

石川 健次



マスターズ

関口 恒子



マスターズ

森屋 建男



マスターズ

岸本 康己



スプリント

小川 英夫



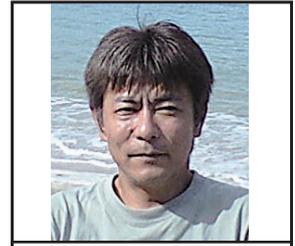
スプリント

逢坂 寛光



スプリント

湯澤 順一



スプリント

小野 泰成



スプリント

大久保 康男



スプリント

市村 具也



スプリント

鳥羽 良子



スプリント

武藤 彰紀



スプリント

武田 光仁



ダイシスト

杉山 良人



ダイシスト

加藤 泰三



ダイシスト

杉山 知加子



ダイシスト

佐藤 弘光

久保 安二  
日立国際

柏木 悟  
日立国際

臼井 秀志  
日立国際

柏木 葉子  
日立国際

土橋 芳男  
ルネサス

神原 秀一  
スプリント

神原 恵美子  
スプリント

武藤 みゆき  
スプリント

俵 誠一  
スプリント

## 小平スキー連盟会員名簿（2012年）

●アルペン	田村 恵	●スプリント	市村 信子
河野 正清	光田 圭子	小川 英夫	鈴木 裕子
大西 岳宏	馬場 雅哉	安田 孔一	伊藤 淳
加藤 真一	押切 彩香	逢坂 寛光	廣嶋 敬
門司 直樹	岸本 卓也	湯澤 順一	太田 百合香
鈴木 一朗	田中 清房	大倉 伊智郎	古賀 玲香
川嶋 剛	馬場 健哉	夏目 桂子	舘野 允彦
河野 秀彰	齋木 泰範	神原 秀一	近藤 武男
●エクセレント	齋木 典子	神原 恵美子	大木 純一
馬場 智司	佐藤 柊	森田 純一	山賀 武
馬場 佳奈子	紀 晃太	川島 里美	山田 良太
黒田 和雄	紀 真耶	小野 泰成	漆田 玲子
佐々木 秀貴	佐藤 慶子	漆田 智子	星野 正博
宮崎 まみ	馬場 裕幸	服部 和哉	●ダイシスト
澤渡 保男	田島 優子	大久保 康男	杉山 良人
酒井 晃	今野 敬行	武藤 みゆき	加藤 泰三
伊藤 正明	加瀬 尚希	市村 具也	杉山 知加子
磯部 勝博	手塚 敬之	安田 幸永	竹松 直子
飯森 隆	松永 幹生	大久保 庸子	真野 均
押切 一成	岸本 和子	青木 一宏	佐藤 弘光
押切 陽子	喜名 眞魚	池田 大作	
滝本 大輔	荻野 敏行	鳥羽 良子	
藤沢 顕	前田 健一朗	武藤 彰紀	
辻井 博幸	志和 昇平	俵 誠一	
田村 実	星野 和宏	武田 光仁	
池田(岡本)千春	小出 清治	武田 麻里	
山下 功	小出 俊	千葉 正胤	

●日立国際	田村英一	吉田昌弘	田辺肇
竹内常雄	當間靖章	長瀬明	牧隆史
久保安二	村杉喜代子	若林隆之	横田徹
柏木悟	森屋建男	織田久	●個人
柏樹芳雄	八木喜世子	土橋芳男	馬場和男
小山隆朗	樋口稔	澤田民生	濱本一孝
清水高博	飯島富美子	灰野潤一	白倉克彦
八重樫一仁	丸山弘	西方朝雄	
佐々敦	岸本康己	庄野洋一	
臼井秀志	小池一弘	大野隆夫	
永井龍太郎	真杉靖男	渡辺章	
永山昌徳	乗越皓司	菅原雅文	
松隈規眞	乗越登志子	野崎隆之	
白川順子	佐藤愼一	渡辺恵美子	
柏樹裕美子	野沢喜久夫	兵間政浩	
柏木葉子	森屋佐保子	斉藤博	
●マスターズ	熊井まさ子	酒井優一	
相澤啓一	臼田祐子	鈴木智博	
池田敦子	萩野久美子	斎藤高志	
石川健次	村山真三	鳥羽功一	
市丸尚嗣	河西房子	池田雄介	
漆田喜久	斉藤武久	首藤新一	
漆田美代子	茂野本史	小山武志	
萩野春枝	和合泰志	小山日和	
喜多征子	原山伸之	菅原俊一	
小林教男	迫幸機	四方 淳史	
佐藤和代	出口久子	有川隼人	
関口恒子	●ルネサス	菅原香織	

## 編集後記

私事で恐縮ですが、私が小平市スキー連盟（以下、SAK）に入ったのは1978年（昭和53年）のことでした。SAJの1級に合格し、その勢いで指導員の資格も取ろう、競技スキーもやりたいと熱く燃えていた時代です。それから（入会した当時は私も「SAKの若手」と言われておりました！！）ほぼ35年もたったことになり、我ながら驚く次第です。ところがSAKの歴史はなんと50年。その間、高度経済成長、バブル、バブルの崩壊、失われた20年と時代は変わりましたが、SAKのスキーを愛する人々、そしてスキーを愛する心は、ひっそり(?)と、したたかに、そしてたくましく時代を生きてきたわけです。昔ほどの勢いはないものの、50年もの時を刻んできたことはまさに驚嘆すべきことだと思います。

さてこのささやかな冊子ですが、SAKの50周年記念実行委員会を中心に今年に入ってから具体的な企画を練り、5月までに予算や内容をほぼ固め、6月から原稿依頼、7月末から原稿の入手と整理、そしてようやく出版へとたどりつきました。長年お世話になったSAKに一肌脱ごうと編集役を引き受けたしだいですが、至らぬところも多いかと思えます。しかし、これを一つの節目とし、SAKの仲間の皆さんがこれからもスキーと共に歩み、スキー人生を大いに謳歌していただきたいと思えます。

最後に原稿を書いていたいただいた方々、資料をまとめていただいた方々、写真を提供していただいた方々に厚くお礼申し上げます。編集後記と致します。

(2012年 初秋 逢坂寛光)

小平市スキー連盟創立50周年記念誌	
発行日	2012年10月12日
発行者	小平市スキー連盟
企画・編集	小平市スキー連盟 50周年記念実行委員会
レイアウト	菊池祥子
印刷	株式会社アトミ

# 祝 小平市スキー連盟 50 周年

株式会社 スポーツかみなが

代表取締役 神永 誼

〒187-0045

東京都小平市学園町 2-12-33

電話 042-343-2020

FAX 042-345-3231

**40年の知識と技術のあるお店！**  
**スキーチューンナップ年中受付**  
**2013モデル入荷中！！**  
**旧モデルスキー、ブーツ大幅割引販売中！！**

ときわスポーツグループ

**PROSKI武蔵境店**

営業時間 平日AM11:00~PM8:00 土・日・祝日AM10:30~PM8:00

プロスキー武蔵境店  
〒180-0023 東京都武蔵野市境南町2-27-5  
☎0422-32-5545



『小平市スキー連盟 創立 50 周年』

おめでとうございます。

石井スポーツグループ



ICI 石井スポーツ カンダコンペカン



〒101-0051  
東京都千代田区神田神保町1-6-1  
TEL.03-3295-6060

# 祝 小平市スキー連盟 50 周年

(財) 東京都スキー連盟 参与

## 馬場和男税理士事務所

東京都小平市小川町 1-939-2

電話 042 (343) 7716

# 祝 小平市スキー連盟 50 周年

小賀坂スキーは当店にお任せください。

## 立川スポーツ

代表・土木施工管理技士 小川 英夫

東京都小平市中島町 14-1

電話 042 (341) 3026

携帯 090-8577-3925

# 祝 小平市スキー連盟 50 周年

## (有)西光設備

代表取締役社長 岸本康己  
(小平マスターズスキークラブ)

小平市小川西町 5-4-6

電話 042 (313) 6264

FAX 042 (313) 6260

空調設備は当社にお任せください

祝 小平市スキー連盟 50 周年  
株式会社 ユー・テクノロジーズ

(YOU Technologies Corporation)

代表取締役 逢坂寛光

E-mail: youtech.hero@nifty.com

Tel: 042(343)2146

(事業内容)  
宇宙関連各種調査  
科学技術関係翻訳  
国際会議支援



We look forward to  
working with you

祝 小平市スキー連盟 50 周年

リゾートイン菅平スイスホテル

〒386-2204

長野県上田市菅平高原 1223

TEL 0268-74-3411

FAX 0268-74-3021



